

6 MP/12 MP (4K ULTRA HD) フィッシュアイカメラ




HFD6GR1

HFD8GR1

ユーザーガイド

ユーザーガイド

注意および警告

	<p>CAUTION RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN</p>		<p>THIS SYMBOL INDICATES THAT DANGEROUS VOLTAGE CONSTITUTING A RISK OF ELECTRIC SHOCK IS PRESENT WITHIN THE UNIT.</p>
<p>CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK, DO NOT REMOVE THE COVER. NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE. REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.</p>			<p>THIS SYMBOL INDICATES THAT IMPORTANT OPERATING AND MAINTENANCE INSTRUCTIONS ACCOMPANY THIS UNIT.</p>

注意 電気安全規格に準拠するために、CSA 認定/UL 規格認定取得済みの LPS またはクラス 2 の電源アダプタが必要です。Power over Ethernet (PoE) は、IEEE 802.3af の PoE 規格を満たす認定済み情報技術機器によって提供されるものとします。PoE は、公開されたネットワーク（屋外施設等）に接続することを目的としていません。

注意 EN50130-4 の要件を遵守するため、24 VAC からカメラに給電するときは UPS を採用してください。

注意 すべての現地法規を遵守して保証を維持するために、設置および修理は資格のある経験豊富な技術者のみによって実施してください。

規格との適合

FCC 遵守声明

使用者のための情報：本装置は、FCC 規格 Part 15 に基づくクラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることが試験で確認されています。これらの制限は、装置が商業環境で操作された場合に、有害な干渉から適切に保護されるように設計されています。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、場合によっては放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置、使用しない場合は無線通信に干渉する可能性があります。住宅街で本機器を操作すると、有害な電波干渉が発生する可能性があります。この場合、ユーザーは自費にて電波干渉を修正する必要があります。

Note 法規制遵守の責任者が明示的に承認していない変更や改造を加えた場合は、本製品を使用する権利を剥奪されることがあります。

遵守声明（カナダ）

このクラス A デジタルデバイスはカナダの ICES-003 に準拠しています。
Cet appareil numérique de la Classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

メーカーの適合宣言

北米

このガイドが付属する装置は、UL 60950-1 および CSA C22.2 No. 60950-1 に準拠しています。

欧州

本メーカーは、本製品が、電気・電子機器における特定有害物質の使用制限に関する欧州議会・理事会指令（2011/65/EU）、一般製品安全指令（2001/95/EC）、EMC 指令の必須要求事項（2004/108/EC）に準拠し、排出ガスについては EN 55032 規格、イミュニティについては EN 50130-4、電気機器の安全性については EN 60950-1 の要件に適合していることを宣言します。

廃電気・電子機器指令（WEEE）



本製品の正しい処分（個別の回収システムを適用している EU と他のヨーロッパ諸国にも該当）

この製品は、該当する地域の法律、規制、および手順に従って、耐用年数終了後に処分する必要があります。

安全の手引き

ユニットを設置または操作する前に、すべての指示を読んで従ってください。設置後は、後で参照できるように、安全および操作説明書を保管してください。

1. **ご注意ください** - 本機および取扱説明書に記載されている警告にすべて従ってください。
2. **設置**
 - 製造元の指示に従って取り付けてください。
 - すべての現地法規を遵守して保証を維持するために、設置および修理は資格のある経験豊富な技術者のみによって実施してください。
 - 極端に暑いところや湿度の高い場所、ほこりや機械的な振動のある場所には設置しないでください。本機は防水設計されていません。本機は雨や水に濡れると破損することがあります。
 - 製品を壁または天井に取り付ける場合は、製造元の指示に従い、製造元が承認または推奨する取り付けキットを使用する必要があります。
3. **電源** - 本製品は、マーキング ラベルに記載されている種類の電源からのみ操作してください。お客様の施設に供給されている電力の種類が不明な場合は、製品販売店または地元の電力会社にお問い合わせください。
4. **熱** - ラジエータ、ヒーター、コンロ、またはその他の、熱を発生する、または熱源である製品（アンプを含む）の近くには置かないでください。
5. **水と湿気** - （屋内モデルのみ）水辺や保護されていない屋外施設の近く、または湿った場所の近くでは、本機を使用しないでください。
6. **取り付けシステム** - 製造元が推奨する取り付けシステムを使用するか、製品とともに購入した取り付けシステムのみを使用してください。
7. **付属品** - 製品の製造元が推奨しない付属品を使用しないでください。火災、感電、人身傷害の危険があります。
8. **付属品** - 製造元が指定した付属品のみを使用してください。

9. **清掃** - 液体洗剤やスプレー洗剤は使用しないでください。清掃には湿った布を使用してください。
10. **修理** - 本機をお客様自身で修理しようとししないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされる可能性があります。修理の際は必ず資格のある保守担当者に依頼してください。
11. **交換部品** - 交換部品が必要な場合は、修理技術者が、製造元が指定した交換部品、または元の部品と同じ特性を持っている交換部品を使用していることを確認してください。許可されていない部品で代用すると、火災、感電、その他の危険をもたらす可能性があります。元の製造元以外で製造された交換部品またはアクセサリーを使用すると、保証が無効になることがあります。
12. **修理を必要とする破損** - 下記の場合は、コンセントから装置のプラグを抜き、資格のある保守担当者に修理を依頼してください。
 - 電源コードまたはプラグが破損した場合。
 - 本機に液体をこぼした場合、または本体の中に異物が入ってしまった場合。
 - 本機が雨や水にさらされた場合。
 - 取扱説明書に従っても本体が正常に動作しない場合。取扱説明書に書かれているコントローラのみを調整してください。他のコントローラを不適切に調整すると、損傷が発生し、正常の動作に戻すために認定技術者による大規模な作業が必要になることがあります。
 - 本機を落としたり、外装が破損した場合。
 - 本機の性能が著しく変化した場合には修理が必要です。
13. **安全確認** - 本機の修理またはサービスが完了したときは、修理技術者に安全確認を依頼して、本機が正常に作動していることを確認してください。

保証とサービス

製品保証に記載されている条件に従って、保証期間中、Honeywell は、単独裁量により、送料前払いで返品された不良品を無料で修理または交換します。

Honeywell 製品に問題がある場合は、カスタマーサービスまでご連絡（1.800.323.4576）いただき、サポートを依頼するか、**返品保証（RMA）** 番号をリクエストしてください。テクニカルサービス担当者にご連絡の際は、問題の内容に加えて、モデル番号、シリアル番号を必ずご確認ください。

すべての返品、交換、または返金については事前の承認が必要です。**明確に識別された返品保証（RMA）** 番号を添付することなく Honeywell に製品を発送すると、拒否される場合があります。

記号の一覧

以下は、カメラに表示される可能性のある記号の一覧です。

記号	説明
	WEEE 記号。 この記号は、エンドユーザーがこの製品を廃棄する場合、回収およびリサイクルのために別の回収施設に送付する必要があることを示しています。この製品を他の家庭用廃棄物と分別することにより、焼却炉や埋立地に送られる廃棄物の量が減り、天然資源が保護されます。
	UL 適合ロゴ。 このロゴは、製品がテストされ、UL (旧 Underwriters Laboratories) によってリストされていることを示します。
	FCC 適合ロゴ。 このロゴは、製品が連邦通信委員会の適合基準に準拠していることを示しています。
	直流記号。 この記号は、製品の電源入出力が直流であることを示しています。
	交流記号。 この記号は、製品の電源入出力が交流であることを示しています。
	RCM 適合ロゴ。 このロゴは、製品がオーストラリアの RCM ガイドラインに適合していることを示しています。
	CE 適合ロゴ。 このロゴは、製品が関連する欧州連合の調和された法令のガイドライン/規格に適合していることを示しています。
	注意記号。 この記号は重要な情報を示します。
	保護接地 (アース) 記号。 この記号は、マークされた端子が保護接地/接地線への接続を意図していることを示しています。

目次

この文書について	11
コンテンツの概要	11
関連文書	12
1 カメラへのアクセス	13
IPC ツールユーティリティのインストール	13
ネットワーク上でのカメラ検出	13
カメラへの新しいIPアドレスの割り当て	14
カメラのファームウェアのアップグレード	14
Webブラウザからカメラにアクセスする	15
2 ログインとライブビデオの表示	17
Webクライアントへのログイン	17
ライブインターフェースの概要	18
ライブインターフェースの設定	19
ライブインターフェースでの作業	20
設定ライブビデオストリーミング	21
Webクライアントからのログアウト	21
3 録画したビデオの再生	23
再生インターフェースの概要	23
録画したビデオの再生	25
録画されたビデオのダウンロード	26
スナップショットの表示	27
4 ビデオとオーディオの設定	29
ビデオ設定の構成	29
オーディオ設定の構成	39
5 ネットワーク設定の構成	41
TCP/IPの設定	42
ネットワーク接続の構成	44
ONVIFの設定	45
PPPoE設定の構成	45
DDNS設定の構成	46
IP/MACアドレスのフィルタリング	47
電子メール設定の構成	49
UPnPポートマッピングの設定	50
SNMP設定の構成	51
Bonjourの設定	52
マルチキャスト設定の構成	52
802.1X設定の構成	53
QoS設定の構成	53
証明書の操作	54
6 イベント設定の構成	55
アラームイベントの設定	55
システムイベントの設定	57

	モーション検出イベントの設定	59
	カメラ不正干渉イベントの設定	62
	シーン変更イベントの設定	63
	オーディオイベントの設定	64
	拡張ビデオ分析へのアクセス	65
7	録画設定の構成	67
	録画スケジュールの設定	67
	ストレージ設定の構成	68
	録画設定の構成	71
8	システム設定の構成	73
	システム一般設定の構成	73
	日付&時刻設定の構成	74
	アカウント設定の構成	75
	カメラのリセット	80
	設定のバックアップ/復元	80
	メンテナンス設定の構成	81
	ファームウェアのアップグレード	81
	バージョン情報の表示	82
	ログの管理	82
	オンラインユーザーの表示	84
	Appendix A 技術仕様	85
索引		91

この文書について

本書は、Honeywell の equiP® シリーズ フィッシュアイ ネットワーク カメラのシステム インストールの担当者、管理者、およびユーザーを対象としており、カメラのアクセス、設定、操作方法について説明しています。

コンテンツの概要

本書には、以下の章と付録が含まれています。

- **章 1、カメラへのアクセス**では、Web ブラウザからカメラにリモートでアクセスする方法について説明します。
- **章 2、ログインとライブ ビデオの表示**では、カメラへのログイン方法とライブ インターフェースの使用方法について説明します。
- **章 3、録画したビデオの再生**では、録画されたビデオとスナップショットを再生およびエクスポートする方法について説明します。
- **章 4、ビデオとオーディオの設定**では、ビデオ ストリームとオーディオ ストリームの設定方法について説明します。
- **章 5、ネットワーク設定の構成**では、ネットワーク上のカメラのセットアップ方法について説明します（上級ユーザーのみ）。
- **章 6、イベント設定の構成**では、アラーム入出力、モーション検出、オーディオ検出、不正干渉検出、およびシステム イベント設定を構成する手順について説明します。
- **章 7、録画設定の構成**では、録画スケジュールを設定する方法、および録画とストレージの設定を管理する方法について説明します。
- **章 8、システム設定の構成**では、言語と日付と時刻のオプションの設定、ユーザー アカウントと権限の管理、保守タスクの設定、ファームウェアのアップグレード、カメラの工場出荷時デフォルトへのリセットを行う手順について説明します。
- **付録 A、技術仕様**では、カメラの仕様を示します。
- **索引**では、マニュアルで使用されている主な用語の検索可能なリストを示します。

関連文書

equiP シリーズ フィッシュアイ カメラに関する詳細は、次の文書を参照してください。

文書タイトル	パート番号
equiP シリーズ ネットワーク セキュリティ ガイド	800-23224
equiP シリーズ フィッシュアイ HFD6GR1/HFD8GR1 クイック インストール ガイド	800-22495

製品の Web ページには、以下の文書やその他の文書があります。

- <http://www.honeywellvideo.com/products/video-systems/video-redefined/equiP-family/1274474.html>

1


カメラへのアクセス

この章は以下の項で構成されています。



- [IPCツールユーティリティのインストール、ページ13](#)
- [ネットワーク上でのカメラ検出、ページ13](#)
- [カメラへの新しいIPアドレスの割り当て、ページ14](#)
- [カメラのファームウェアのアップグレード、ページ14](#)
- [Webブラウザからカメラにアクセスする、ページ15](#)

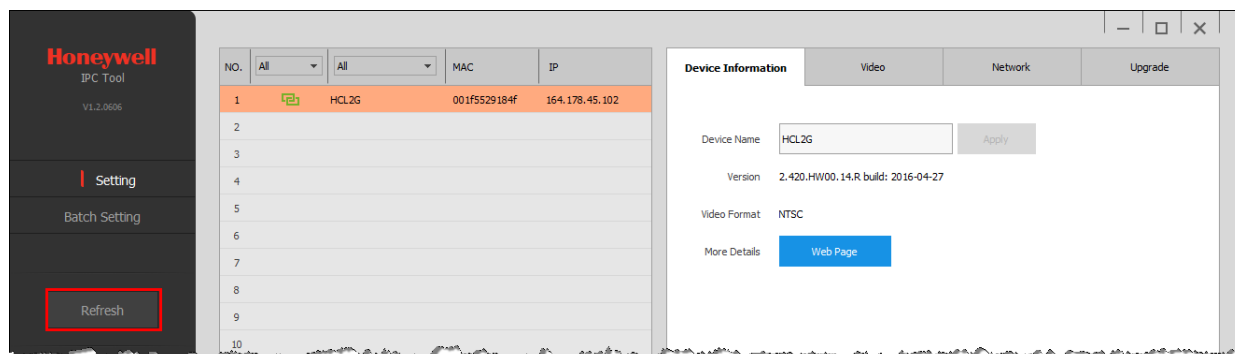
IPCツール ユーティリティのインストール

IPCツールユーティリティをインストールしてデスクトップショートカットを作成するには：

1. 付属のソフトウェアとドキュメントディスクをPCのディスクドライブに挿入します。
2. IPCツールユーティリティをPCにインストールします。ショートカット  がデスクトップに追加されます。

ネットワーク上でのカメラ検出

ネットワークカメラを検出するには、IPCツールユーティリティ  を開き、ユーザー名とパスワードを入力して、Connect[接続]をクリックします。オンラインのカメラには、隣に緑色の接続アイコン  があります。オフラインのカメラには、横に灰色のXアイコンがあります。リストを更新するにはRefresh[更新]をクリックします。



カメラへの新しいIPアドレスの割り当て

カメラの現在のIPアドレスが、デバイス リストのIP列に表示されます。新しい静的IPアドレスをカメラに割り当てることができます。

1台のカメラのIPアドレスを変更するには：

1. 設定するカメラをデバイス リストから選択します。
2. Network[ネットワーク]タブをクリックします。
3. DHCP チェック ボックスをオフにします。
4. IP Address[IPアドレス]、Subnet Mask[サブネット マスク]、Default Gateway[デフォルト ゲートウェイ]フィールドに新しいIP設定を入力します。
5. Apply[適用]をクリックして設定を適用します。

複数のカメラのIPアドレスを同時に変更するには：

1. IPC ツール ユーティリティの左端のペインで、Batch Setting[バッチ設定]をクリックします。
2. 設定するカメラをデバイス リストからすべて選択します。
3. Network[ネットワーク]タブをクリックします。
4. 次のいずれかを実行します。
 - 動的IPアドレスを割り当てるには、Set all to DHCP [DHCPにすべて設定]チェックボックスをオンにして、Apply[適用]をクリックします。
 - 静的IPアドレスを割り当てるには、IP Range[IP範囲]、Subnet Mask[サブネットマスク]、Default Gateway[デフォルトゲートウェイ]フィールドに設定を入力し、Apply[適用]をクリックします。

カメラのファームウェアのアップグレード

カメラを使用する前に、最新のファームウェアがインストールされていることを確認してください。1つまたは複数のカメラを同時にアップグレードできます。

1つのカメラをアップグレードするには：

1. アップグレードするカメラをデバイス リストから選択します。
2. Upgrade[アップグレード]タブをクリックします。
3. Browse[参照]をクリックして、ファームウェア ファイル (.bin) を含むディレクトリに移動し、ファイルを選択して、Open[開く]をクリックします。ファームウェア ファイルがTarget File[ターゲット ファイル]フィールドに表示されます。
4. Upgrade[アップグレード]をクリックします。アップグレードが完了すると、カメラは再起動します。


複数のカメラを同時にアップグレードするには：

1. IPC ツール ユーティリティの左端のペインで、Batch Setting[バッチ設定]をクリックします。
2. アップグレードするカメラをデバイス リストからすべて選択します。
3. Upgrade[アップグレード]タブをクリックします。

4. **Browse[参照]**をクリックして、ファームウェアファイル（.bin）を含むディレクトリに移動し、ファイルを選択して、**Open[開く]**をクリックします。ファームウェアファイルがTarget File[ターゲットファイル]フィールドに表示されます。
5. **Upgrade[アップグレード]**をクリックします。アップグレードが完了すると、カメラが再起動します。

Web ブラウザからカメラにアクセスする

Web ブラウザからカメラにアクセスするには：

1. アクセスするカメラをデバイス リストから選択します。カメラはオンラインである必要があります 。
2. **Device Information[デバイス情報]** タブで、**Web Page[Web ページ]** をクリックします。Web クライアントがデフォルトのブラウザで開きます。

2

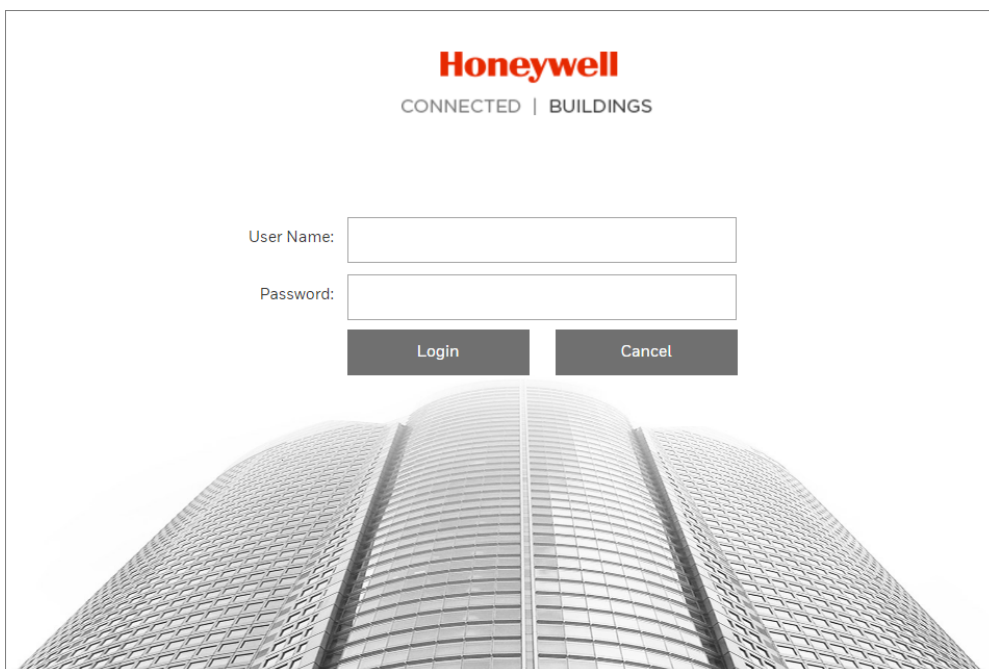
ログインとライブビデオの表示

この章は以下の項で構成されています。

- [Webクライアントへのログイン、ページ17](#)
- [ライブインターフェースの概要、ページ18](#)
- [ライブインターフェースの設定、ページ19](#)
- [ライブインターフェースでの作業、ページ20](#)
- [Webクライアントからのログアウト、ページ21](#)

Webクライアントへのログイン

Webクライアントに初めてログインする場合は、ログインページで、デフォルトのユーザー名（admin）とパスワード（1234）を入力し、Login[ログイン]をクリックします。



Honeywell
CONNECTED | BUILDINGS

User Name:

Password:

Login Cancel

セキュリティのために、新しい安全なパスワードを作成する必要があります。

Please change password.

New Password

Weak Medium Strong

Confirm Password

Don't show this again.

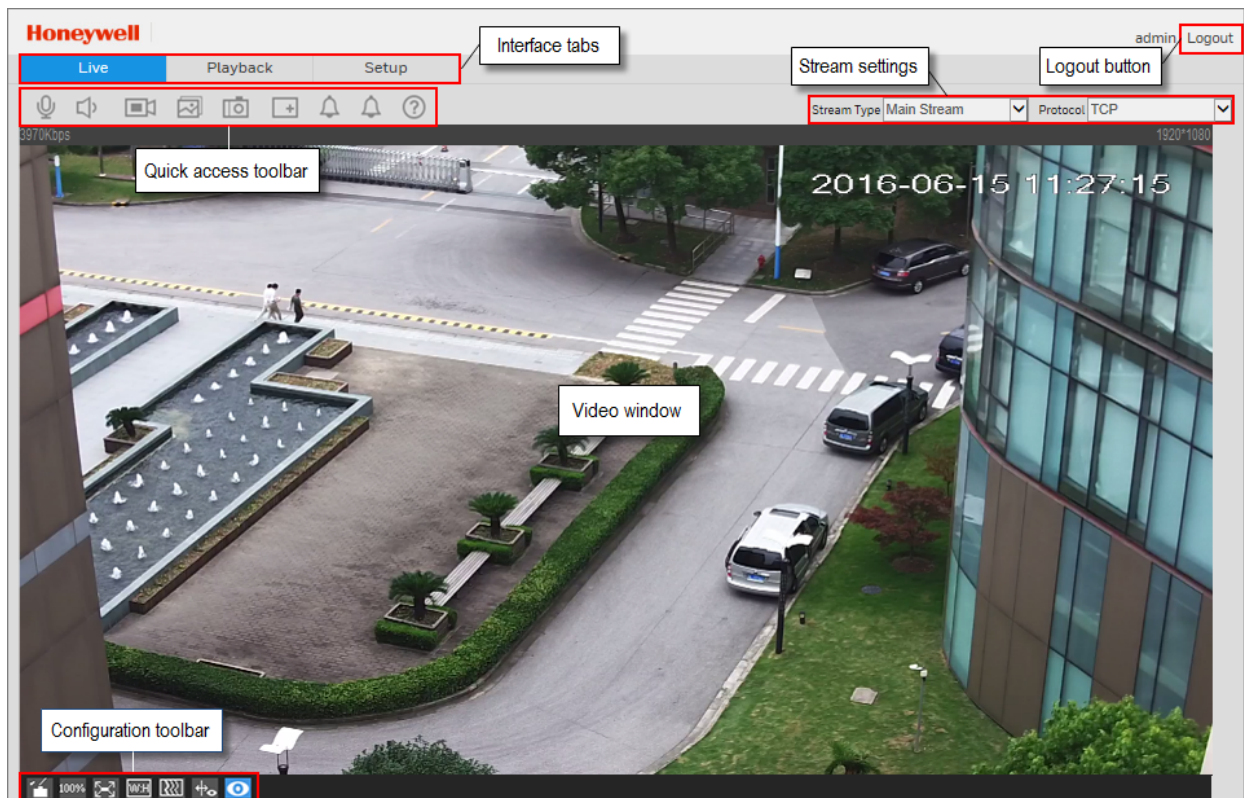
OK Cancel

パスワードは8文字以上の長さで、少なくとも1つの小文字、1つの数字、1つの特殊文字を含める必要があります。パスワードを空白にすることはできません。

ライブ インターフェースの概要

図 2-1 に Web クライアントのライブ インターフェースのレイアウトを表示します。

図 2-1 ライブ インターフェース



ライブ インターフェースの設定

Note Web クライアントに初めてログインするときは、画面の指示に従って Web ブラウザ プラグインをダウンロードしてインストールします。

ライブ インターフェースは、画面の左下隅のビデオ ウィンドウのすぐ下にある設定コントロールを使用して設定できます (図 2-2)。


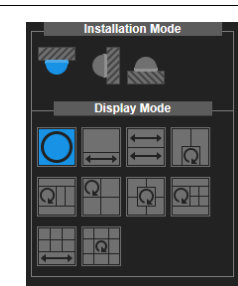
図 2-2 ライブ設定ツールバー



表 2-1 ライブ設定コントロール

	Image Adjustment [画像調整]	<p>Image Adjustment[画像調整]パネルを開きます。</p> <p>スライダーを動かして、輝度、コントラスト、色相、彩度を調整します。マイナス記号 (-) とプラス記号 (+) をクリックして、微調整を行います。設定をデフォルト値 (64) に戻すには、Reset[リセット]をクリックします。</p> <p>Note これらの設定は、クライアント側にも適用されますカメラ側の設定を変更するには、Setup[セットアップ] > Camera Setup[カメラのセットアップ] > Properties [プロパティ] > Picture[画像]に進みます。</p>	
	Original Size [オリジナルサイズ]	<p>実際のサイズでビデオを表示します (正確なサイズはストリーム解像度によって決まります)。</p>	
	Full Screen [全画面表示]	<p>ビデオを全画面モードで表示します。全画面モードを終了するにはダブルクリックします (またはESCキーを押します)。</p>	
	Width:Height Ratio [幅と高さの比率]	<p>ビデオをオリジナルサイズ (Original[オリジナル]) で表示するか、画面に合わせて表示します (Adaptive[適応型])。</p>	
	Fluency [スムーズさ]	<p>ビデオのスムーズさレベル (Realtime[リアルタイム]、Normal[通常]、または Fluency[スムーズ]) を設定します。ネットワークの機能に基づいて、スムーズさレベルを選択します。たとえば、接続速度が遅い場合、Fluency[スムーズ]を選択すると、画像品質よりも滑らかさが優先されます。</p>	
	Rules Info [ルール情報]	<p>インテリジェント ビデオ監視 (IVS) が有効になっている場合、ビデオ ウィンドウ内の動きを追跡します。</p>	

表 2-1 ライブ設定コントロール

	Fisheye[フィッシュアイ]	Fisheye[フィッシュアイ] 表示オプションパネルを開きます。	
<p>Installation Mode[取り付けモード] (天井取り付け、壁面取り付け、または地上取り付け) を選択します。次に、Display Mode[表示モード] を選択します。デフォルトでは、標準の 360 度ビュー (歪み補正なし) が表示されますが、いくつかのパノラマ表示モードと EPTZ (仮想 PTZ) 表示モードから選択できます。</p>			
<p>Note これらの設定は、クライアント側にも適用されますカメラ側の設定を変更するには、Setup[セットアップ] > Camera Setup[カメラのセットアップ] > Properties [プロパティ] > Fisheye[フィッシュアイ] に進みます。</p>			

ライブ インターフェースでの作業

画面左上隅のビデオ ウィンドウのすぐ上にあるツールバーから、よく使用するコントロールにすばやくアクセスできます (図 2-3)。

図 2-3 クイック アクセスツールバー



表 2-2 クイック アクセス コントロール









	Talk[通話]	クリックすると、双方向通話が有効または無効になります (音声も有効にする必要があります)。
	Audio[音声]	クリックすると、音声入力ストリームが有効または無効になります。
	Record[録画]	クリックするとビデオの録画が開始または停止されます。ビデオの録画中はアイコンが赤で表示され、ビデオの録画中でない場合はグレーで表示されます。録画されたビデオは、Setup[設定] > Storage Setup[ストレージ設定] > Destination[保存先] > Path[パス] > Live Record[ライブ録画] で指定した場所に保存されます。
	Triple Snapshot [トリプル スナップショット]	クリックすると、3つのスナップショットをすばやく連続して (1秒あたり1回) 撮影できます。スナップショットは、Setup[設定] > Storage Setup[ストレージ設定] > Destination[保存先] > Path[パス] > Live Snapshot[ライブ スナップショット] で指定した場所に保存されます。
	Snapshot [スナップショット]	クリックして現在のビデオのスナップショットを撮ります。スナップショットは、Setup[設定] > Storage Setup[ストレージ設定] > Destination[保存先] > Path[パス] > Live Snapshot[ライブ スナップショット] で指定した場所に保存されます。

表 2-2 クイックアクセスコントロール

	Digital Zoom [デジタルズーム]	この機能を有効にすると、ビデオの領域をドラッグしてその領域を拡大できます。右クリックすると、前の倍率に戻ります。
	Alarm Output [アラーム出力]	クリックして、アラーム出力を生成またはキャンセルします。アイコンは、アラームがアクティブな場合は赤で表示され、アラームが非アクティブな場合はグレーで表示されます。
	Help [ヘルプ]	ライブ インターフェースのオンライン ヘルプを表示します。

設定ライブビデオストリーミング

画面の右上隅のビデオ ウィンドウのすぐ上でライブビデオストリーミングのストリームタイプとプロトコルを設定できます。

ストリームタイプの設定

ストリームタイプを設定するには、Stream Type[ストリームタイプ]リストで、Main Stream[メインストリーム]、Sub Stream 1[サブストリーム1]、またはSub Stream 2[サブストリーム2]を選択します。

Main Stream [メインストリーム]	リアルタイムの監視、録画、保存を行う高精細度ビデオを提供します。ほとんどの帯域幅を使用します。
Sub Stream 1 [サブストリーム1]	低/標準解像度ビデオを提供します。通常、低ネットワーク帯域幅環境でのリモート監視に使用します。
Sub Stream 2 [サブストリーム1]	低解像度、標準解像度、または高解像度のビデオを提供します。

各ストリームタイプのプロパティは、Setup[設定]> Compression Setup[圧縮設定]> Video[ビデオ]ページで設定します ([ストリーミング設定の構成](#) ページ 34)

ストリームプロトコルの設定

ストリームプロトコルを設定するには、Protocol[プロトコル]リストで、TCP、UDP、またはMulticast[マルチキャスト]を選択します。

TCP	最も信頼性の高いデータ転送を提供します。UDPよりもレイテンシと帯域幅の使用率が多くなります。
UDP	最速のデータ転送を提供します。TCPよりもレイテンシと帯域幅の使用率は少なくなりますが、一部のデータ損失（フレームのドロップなど）は許容されます。
Multicast [マルチキャスト]	多数のクライアントがビデオを同時に表示している場合に、帯域幅を最も効率的に使用できます。

Webクライアントからのログアウト

Webクライアントからログアウトするには、画面の右上隅にある Logout[ログアウト]をクリックします。

3

録画したビデオの再生

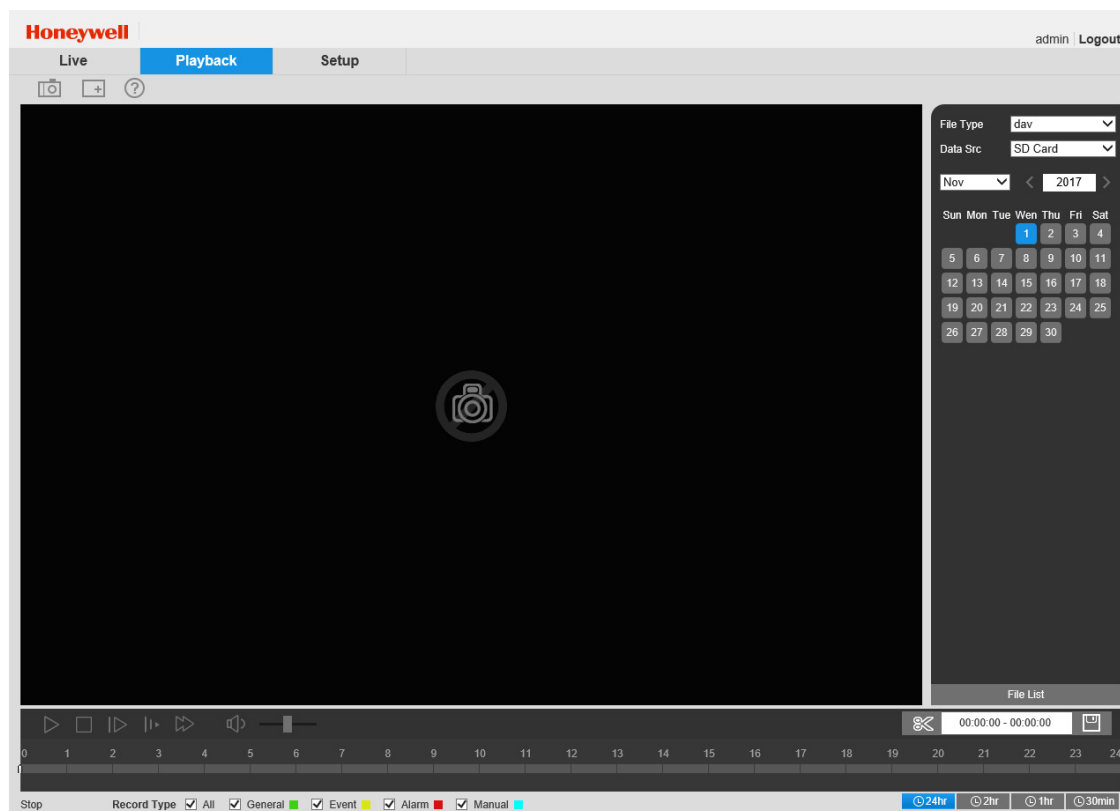
この章は以下の項で構成されています。

- [再生インターフェースの概要、ページ23](#)
- [録画したビデオの再生、ページ25](#)
- [録画されたビデオのダウンロード、ページ26](#)
- [スナップショットの表示、ページ27](#)

再生インターフェースの概要

図 3-1 に Web クライアントの再生インターフェースのレイアウトを示します。

図 3-1 再生インターフェース



再生コントロール

再生コントロールは、画面の左下隅のビデオ ウィンドウのすぐ下にあります。ビデオの再生方法については、[録画したビデオの再生](#) ページ 25 を参照してください。

図 3-2 再生ツールバー



表 3-1 再生コントロール

	Play/Pause [再生/一時停止]	クリックして録画したビデオを再生します。
	Pause [一時停止]	クリックすると再生を一時停止します。
	Stop[停止]	クリックすると再生が停止します。
	Next Frame [次のフレーム]	再生が一時停止されているときに、クリックして次のフレームに進みます。
	Slow Play [低速再生]	クリックすると再生速度が遅くなります。
	Fast Play [高速再生]	クリックすると再生速度が速くなります。
	Volume[音量]	クリックすると音が聞こえます。
	Mute[消音]	クリックすると消音になります
	Volume Level [音量レベル]	スライダーをドラッグして音量を調整します。

ビデオクリップのコントロール

ビデオクリップのコントロールは、画面の右下隅のファイル リスト ボタンのすぐ下にあります。ビデオクリップの作成およびエクスポート方法については、[録画されたビデオのダウンロード](#) ページ 26 を参照してください。

図 3-3 ビデオクリップエリア

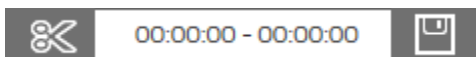


表 3-2 ビデオクリップのコントロール

	Clip[クリップ]	クリックするとビデオクリップが開始または停止されます。
	Download [ダウンロード]	クリックして作成したビデオクリップをPCのローカルドライブにダウンロードします。

タイムライン

タイムラインは、再生コントロールとビデオ クリップ コントロールの下にあります。

図 3-4 タイムライン エリア



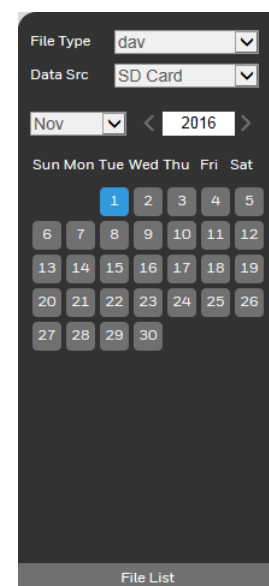
表 3-3 タイムライン コントロール


録画タイプ	General [一般]	通常のスケジュールされた録画中にタイムラインに保存されたビデオを表示します。
	Motion [モーション]	モーション検出イベント中にタイムラインに保存されたビデオを表示します。
	Alarm [アラーム]	アラーム イベント中にタイムラインに保存されたビデオを表示します。
	Manual [手動]	ライブ モニタリング中に手動でタイムラインに保存したビデオを表示します。
24hr	24hr[24 時間]	タイムラインの 24 時間分のビデオを表示します。
2hr	2hr[2 時間]	タイムラインの 2 時間分のビデオを表示します。
1hr	1hr[1 時間]	タイムラインの 1 時間分のビデオを表示します。
30min	30min[30 分]	タイムラインの 30 分間のビデオを表示します。

録画したビデオの再生

録画したビデオを再生するには：

- File Type[ファイル タイプ]リストで、dav を選択します。
- Data Src[データ ソース]リストから、ビデオ ファイルが保存されている場所を選択します。
ストレージの場所は、Setup[設定]> Storage Setup [ストレージ設定]> Destination[保存先]で設定します (ストレージ設定の構成 ページ 68 を参照)。
- 再生するファイルを見つけます。
 - カレンダーで、検索する月と年を選択します。
 - カレンダーで、検索する日付をクリックします。選択した日付の録画がタイムラインに表示されます (録画タイプに応じて色分けされます)。
 - カレンダーの下にある、File List[ファイル リスト] ボタンをクリックして、期間やダウンロード形式で検索を絞り込みます。




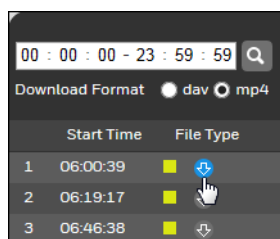
4. 次のいずれかの方法を使用してファイルを再生します。
 - ファイルリストで、再生したいファイルをダブルクリックします。
 - タイムラインの再生を開始する時間で色付きのバーをクリックし（ をクリックするとタイムラインでズームインします）、Play[再生]ボタンをクリックします。


録画されたビデオのダウンロード

録画したビデオをダウンロードするには、2つの方法があります。ビデオファイル全体をダウンロードするか（最大長はSetup[設定]>Storage Setup[ストレージ設定]>Record Control[録画コントロール]で指定します）、ビデオクリップを作成して書き出すことができます。




ビデオ ファイルをダウンロードするには：

1. File Type[ファイルタイプ]リストで、davを選択します。
2. Data Src[データソース]リストから、ビデオファイルが保存されている場所を選択します。
3. カレンダーで、ビデオが録画された日付をクリックします。
4. File List[ファイルリスト]をクリックして、その日付のビデオファイルのリストを表示します。
5. Download Format[ダウンロード形式]をdavまたはmp4に設定します。
6. ファイルリストからダウンロードするファイルのダウンロードボタンをクリックします。



ボタンがに変わり、ファイルがSetup[設定]>Compression Setup[圧縮設定]>Path [パス]>Playback Download[再生ダウンロード]で指定された場所に保存されます。


ビデオクリップを作成してエクスポートするには：

1. 再生ウィンドウでビデオファイルを開きます。
2. クリップを開始する時刻でビデオを一時停止します。
3. ビデオクリップエリアで、Select Start Time[開始時刻を選択]ボタンをクリックします。
4. ビデオの再生を再開します。
5. クリップを停止する時刻でビデオを一時停止します。
6. Select Stop Time[停止時刻の選択]ボタンをクリックします。
7. ビデオを停止し、Download[ダウンロード]ボタンをクリックします。

Note ビデオ ファイルが Web クライアントで開かれている間は、クリップをダウンロードできません。

クリップは、**Setup[設定] > Compression Setup[圧縮設定] > Path[パス] > Video Clips[ビデオクリップ]**で指定した場所に保存されます。

スナップショットの表示


再生中に **Snapshot[スナップショット]** ボタン  をクリックしてビデオのスナップショットを撮ることができます。スナップショットは、**Setup[設定] > Compression Setup[圧縮設定] > Path[パス] > Playback Snapshot[スナップショットの再生]**で指定した場所に保存されます。

ライブ モニタリング中に手動で保存したスナップショットを表示するには、**Setup[設定] > Compression Setup[圧縮設定] > Path[パス] > Live Snapshot[ライブスナップショット]**で指定したディレクトリに移動し、ファイルをダブルクリックして開きます。

再生中に手動で保存したスナップショットを表示するには、**Setup[設定] > Compression Setup[圧縮設定] > Path[パス] > Playback Snapshot[スナップショットの再生]**で指定したディレクトリに移動し、ファイルをダブルクリックして開きます。

スケジュール指定して、またはモーション検出イベントやアラームイベント中にスナップショットを作成するようにシステムを設定している場合は、スナップショットを表示およびダウンロードできます。

システム生成スナップショットを表示またはダウンロードするには：

1. **File Type[ファイルタイプ]** リストで、**jpg** を選択します。
2. **Data Src[データソース]** リストから、スナップショット ファイルが保存されている場所を選択します。
3. カレンダーで、スナップショットが撮影された日付をクリックします。
4. **File List[ファイルリスト]** をクリックして、その日付のスナップショットのリストを表示します。
5. 表示するスナップショット ファイルをダブルクリックします。ビデオ ウィンドウにファイルが表示されます。
6. ファイルをダウンロードするには、**ダウンロード ボタン**  をクリックします。ファイルが新しいブラウザ ウィンドウに表示されます。画像を右クリックし、**Save picture as[名前を付けて画像を保存]** または **Save image as[名前を付けて画像を保存]** をクリックして、スナップショットをローカル ディレクトリに保存します。

4

ビデオとオーディオの設定

この章は以下の項で構成されています。

- [ビデオ設定の構成、ページ29](#)
- [オーディオ設定の構成、ページ39](#)

ビデオ設定の構成

このセクションでは、カメラのプロパティ（画像、露光、照明補正、ホワイトバランス、デイ/ナイト、IRライト、霧除去）およびビデオストリーミングのプロパティ（形式、解像度、フレームレート、ビットレート、1フレーム間隔）を設定する方法について説明します。

カメラ設定の構成

カメラのプロパティは、Setup[設定] > Camera Setup[カメラ設定] > Properties[プロパティ] ページで行うことができます。

プロファイル

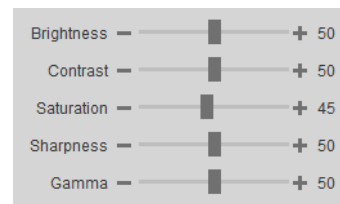
Profile[プロファイル]ボックスで、設定したいカメラのプロファイルを選択します。Normal[通常]、Day[デイ]、またはNight[ナイト]を選択します。

画像

Picture[画像]エリアで、画像の明るさ、コントラスト、彩度、鮮明度、ガンマレベルを手動で調整できます。

スライダーを左右にドラッグして、値を増減させます。

マイナス記号 (-) とプラス記号 (+) をクリックして、微調整を行います。

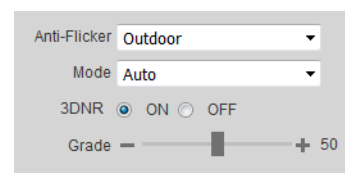


Brightness[輝度]	画像のブラックレベルを調整します。
Contrast[コントラスト]	画像のホワイトレベルを調整します。
Saturation[彩度]	画像の色の強度を調整します。
Sharpness[鮮明度]	画像要素のエッジの鮮明度を調整します。動いている画像の鮮明度を上げると、ノイズが増加し、ビットストリームが大きくなり、ファイルサイズが節約されることに注意してください。
Gamma[ガンマ]	画像に適用されるガンマ補正の量を調整します。微調整を使用して、画像の暗い部分を強調します。

Save[保存]をクリックして設定を適用します。

露光

Exposure[露光]エリアでは、アンチフリッカー モード、露光モード、自動絞り、およびデジタル ノイズ低減レベルを設定できます。



Anti-Flicker[アンチフリッカー]を Outdoor[屋外]、50Hz、または60Hzに設定します。

Outdoor [屋外]	屋外用途でのちらつきを最小限に抑えます。auto[オート]、low noise[低ノイズ]、low motion blur[被写体ブレ抑制]、manual[手動]の露光モードを使用できます。
50Hz	AC周波数が50 Hz（一般にPAL地域）の屋内用途でのちらつきを最小限に抑えます。auto[オート]およびmanual[手動]露光モードで動作します。
60Hz	AC周波数が60 Hz（一般にNTSC地域）の屋内用途でのちらつきを最小限に抑えます。auto[オート]およびmanual[手動]露光モードで動作します。

Mode[モード]を Auto[オート]、Gain Priority[ゲイン優先]、Shutter Priority[シャッター優先]、または Manual[手動]に設定します。

Auto[オート]	露光設定が、シーンの照明の変化に合わせて自動的に変更されます。
Gain Priority [ゲイン優先]	シャッター速度が、指定したゲイン値に合わせて自動的に調整されます。
Shutter Priority [シャッター優先]	ゲインが、指定したシャッター速度に合わせて自動的に調整されます。
Manual[手動]	通常の照明条件での最大シャッター速度と最大ゲインをユーザーが設定します。

3DNR（3D ノイズ低減）はデフォルトで有効になっています。画像に適用されるデジタル ノイズ低減のレベルを増減させるには、Grade[グレード]スライダーを左右にドラッグします。3D ノイズ低減を無効にするには、3DNRを OFFに設定します。

Save[保存]をクリックして設定を適用します。

照明補正

Lighting Compensation[照明補正]エリアでは、逆光補正（BLC）、ハイライト補正（HLC）、またはデジタル ワイド ダイナミックレンジ（DWDR）の調整を画像に適用できます。

Lighting Mode[照明モード]を OFF、BLC、HLC、または DWDRに設定します。

BLC [逆光補正]	逆光の強いシーンの露光を補正します。BLCをシーン全体に適用するには、Default[デフォルト]をクリックします。BLCをシーンの特定のエリアに適用するには、Customized[カスタマイズ]をクリックします。プレビュー ウィンドウに黄色の四角形が表示されます。これを移動するには、フレームの中心をドラッグします。サイズを変更するには、コーナーのいずれかのハンドルをドラッグします。
HLC [ハイライト補正]	シーンの強い光をマスクします。スライダーをドラッグして HLC レベルを調整します。マイナス記号 (-) とプラス記号 (+) をクリックして、微調整を行います。
DWDR	シーンの露光過剰および露光不足のエリアの露光を修正します。スライダーをドラッグして DWDR レベルを調整します。マイナス記号 (-) とプラス記号 (+) をクリックして、微調整を行います。

Save[保存]をクリックして設定を適用します。

ホワイトバランス

ホワイトバランスは、さまざまな光源の色温度を補正し、画像内の色の一貫性を確保します。

White Balance[**ホワイトバランス**]エリアで、ホワイトバランスモードを Auto[**オート**]、Natural[**ナチュラル**]、Street Lamp[**街灯**]、Outdoor[**アウトドア**]、Manual[**手動**]、または Customize Region[**カスタマイズ領域**]に設定できます。

Auto[オート]	ホワイトバランスは自動的に調整されます。
Natural[ナチュラル]	ホワイトバランスは自然光に最適化されます。
Street Lamp[街灯]	ホワイトバランスは、黄色を帯びた照明に最適化されます。
Outdoor[屋外]	ホワイトバランスは屋外環境に最適化されます。
Manual[手動]	赤ゲインと青ゲインの値をユーザーが設定します。
Customize Region[カスタマイズ領域]	ホワイトバランスがシーン内のユーザー定義エリアに適用されます。

Save[**保存**]をクリックして設定を適用します。

デイナイト

D&N Mode[**デイナイトモード**]領域では、デイモードとナイトモード、感度、および遅延時間を設定できます。

The screenshot shows a settings panel for D&N Mode with three dropdown menus: Mode (set to Auto), Sensitivity (set to Medium), and Delay (set to 6s).

デフォルトでは、カメラはシーンの光の量に応じて、カラービデオまたは白黒ビデオを自動的に出力します。カラービデオのみを出力するには、Mode[**モード**]を Color[**カラー**]に設定します。白黒ビデオのみを出力するには、Mode[**モード**]を Black & White[**白黒**]に設定します。

Sensitivity[**感度**]は、カメラのデイ（カラー）モードとナイト（白黒）モードを切り替える原因となる照明の変化に対する感度を制御します。Low[**低**]、Medium[**中**]、または High[**高**]を選択します。

Delay[**遅延**]は、モードを切り替える前の遅延時間を定義します。2s～10sの値を選択します。

Save[**保存**]をクリックして設定を適用します。

IR ライト

IR Light[**IR ライト**]領域では、赤外線 LED モードおよびその他の設定を行うことができます。

Mode[**モード**]を Manual[**手動**]、Smart IR[**スマート IR**]、または OFF に設定します。

Manual[手動]	赤外線照射の近距離および遠距離の輝度をユーザーが設定します。
Smart IR[スマート IR]	IR 設定は、露光過剰や露光不足を防ぐために自動的に調整されます。

Mode[**モード**]が Manual[**手動**]に設定されている場合は、Grade[**グレード**]スライダーを左右にドラッグして値を増減させます。マイナス記号 (-) とプラス記号 (+) をクリックして、微調整を行います。

霧除去

霧除去機能を有効にするには、Mode[**モード**]を OFF、Manual[**手動**]、または Auto[**オート**]に設定します。

Auto[オート]	シーンが霧やかすみで隠されると、霧除去機能が自動的に有効になります。
Manual[手動]	霧除去機能が常に有効になります。

Mode[モード]がManual[手動]に設定されている場合は、次の手順を実行します。

1. Intensity[強度]をLow[低]、Medium[中]、またはHigh[高]に設定します。
2. Airlight Mode[散乱光モード]をAuto[自動]またはManual[手動]に設定します。

The screenshot shows a settings panel with three dropdown menus. The first menu is labeled 'Mode' and is set to 'Manual'. The second menu is labeled 'Intensity' and is set to 'Low'. The third menu is labeled 'Airlight Mode' and is set to 'Auto'.








Auto[オート] 霧除去機能は自動的に微調整されます（推奨）。

Manual[手動] 霧除去機能は、ユーザーがGrade[グレード]スライダーを使用して微調整します。

Save[保存]をクリックして設定を適用します。

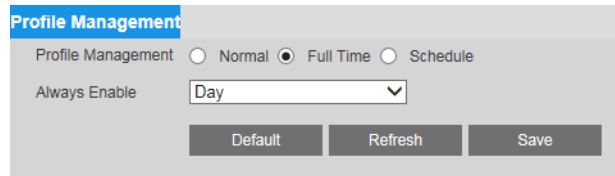
フィッシュアイ

フィッシュアイ カメラの Fisheye[フィッシュアイ]エリアで、設置モード（天井、壁、または地上）と希望の表示モードを選択できます。7つの表示モードから選択できます。

	Original[オリジナル] 歪み補正のない360°ビュー。
	Single Panorama [シングル パノラマ] パノラマ レイアウトの 360° ビュー。
	Double Panorama [ダブル パノラマ] パノラマ レイアウトの 2つの 180° ビュー。
	1+3 EPTZ 3つのEPTZ（仮想PTZ）領域映像によるオリジナル360°映像。すべてのビューでズームと移動がサポートされます。
	Single Image [シングル映像] 360° ビュー内から単一のビューを表示します。
	4 EPTZ 4つのEPTZ（仮想PTZ）領域映像。すべてのビューでズームと移動がサポートされます。
	Vertical Panorama [垂直方向パノラマ] 2つの垂直方向パノラマビュー。

プロファイルの管理

各プロファイル（通常、デイ、ナイト）のカメラプロパティを設定したら、**Setup[設定]** > **Camera Setup[カメラ設定]** > **Profile Management[プロファイル管理]** ページでシステムで使用するプロファイルを設定できます。

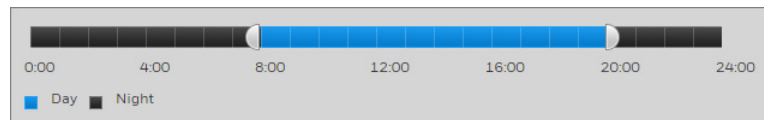


Profile Management[プロファイル管理] の隣で、**Normal[標準]**、**Full Time[フルタイム]**、または **Schedule[スケジュール]** を選択します。デフォルトでは、システムの **Day[デイ]** プロファイルが常に有効になっています。

Normal[標準] Normal[標準] プロファイルは常に有効になっています。

Full Time 選択内容に応じて、Day[デイ] プロファイルまたは Night[ナイト] プロファイルが常に有効になります。

Schedule Day[デイ] プロファイルと Night[ナイト] プロファイルが切り替わります。タイムラインの左右にあるスライダーをドラッグして、Night-to-Day[ナイトからデイ] および Day-to-Night[デイからナイト] の切り替え時間を設定します。



Save[保存] をクリックして設定を適用します。

ストリーミング設定の構成

ビデオ ストリーミングのプロパティは、Setup[設定] > Compression Setup[圧縮設定] > Video[ビデオ] ページで設定できます。

このページは、次の2つのセクションに分かれています。Main Stream[メインストリーム] と Sub Stream[サブストリーム]。Sub Stream[サブストリーム] セクションでは、次の2つのサブストリームを設定できます。Sub Stream 1[サブストリーム1] と Sub Stream 2[サブストリーム2] です。サブストリームを有効にするには、サブストリームの1つを選択し、Enable[有効] チェックボックスをオンにします。

各録画タイプ (General[通常]、Motion[モーション]、Alarm[アラーム]) について、エンコード形式、解像度、フレームレート、ビットレート、およびIフレーム間隔の設定を行うことができます。メインストリームにカスタム ウォーターマークを適用することもできます。

形式

Format[形式] ボックスで、H.264B、H.264、H.264H、MJPEG、またはH.265を選択します。

H.264	メイン プロファイル。同じ品質でベースライン プロファイルよりも少ない帯域幅を使用します。
H.264B	ベースライン プロファイル。MPEG4 よりも最大 50% 少なく、MJPEG よりも最大 80% 少ない帯域幅を使用します。H.264 よりも高い圧縮率で、低い品質になります。
H.264H	ハイ プロファイル。同じ品質でメイン プロファイルよりも少ない帯域幅を使用します。H.264 よりも低い圧縮率で、高い品質になります。
MJPEG	最も多い帯域幅を使用しますが、ストリーム内のすべての画像にアクセスできる高画質を実現します。
H.265	高効率ビデオ コーディング。4K 解像度をサポート。H.264 の 2 倍の効率。

解像度

Resolution[解像度] ボックスで、リストから解像度を選択します。使用可能なオプションは、メインストリームとサブストリームで異なります。

フレーム レート

Frame Rate (FPS)[**フレーム レート (FPS)**]ボックスで、使用可能な範囲内のフレーム レートを選択します (NTSCカメラの場合は1~30 fps、PALカメラの場合は1~25 fps)。

ビット レート

Bit Rate Type[**ビット レート タイプ**]ボックスで、CBRまたはVBRを選択します。

- | | |
|-----|--|
| CBR | 固定ビットレート。ビットレートは一定になります (低帯域幅環境に推奨)。MJPEG 圧縮を使用する場合は必須です。 |
| VBR | 可変ビットレート。ビットレートは、シーンの複雑さに応じて変化します。Quality[品質]レベルを1 (最低品質) ~6 (最高品質) で選択します。 |

Bit Rate[**ビット レート**]ボックスで、Reference Bit Rate[**基準ビット レート**]をガイドとして使用して、リストからビットレートを選択します。

I Frame Interval[**I フレーム 間隔**]

I-Frame Interval[**I フレーム 間隔**]ボックスに、1~150の値を入力します。デフォルトIフレーム間隔は、フレームレートの2倍です。たとえば、フレームレートが30 fpsの場合、Iフレーム間隔は60になります。

ウォーターマーク

メインストリームにカスタムウォーターマークを適用するには、Watermark Settings[**ウォーターマーク設定**]チェックボックスをオンにします。Watermark Text[**ウォーターマーク テキスト**]ボックスにウォーターマークのテキストを入力します。テキストにはスペースを含めることはできませんが、アンダースコア (_) とハイフン (-) は使用できます。

Save[**保存**]をクリックして設定を適用します。

スナップショット設定の構成

スナップショットのプロパティは、Setup[**設定**] > Compression Setup[**圧縮設定**] > Snapshot[**スナップショット**]ページで設定できます。

スナップショット タイプ

Snapshot Type[**スナップショット タイプ**]を General[**一般**]または Event[**イベント**]に設定します。

- | | |
|----------------------|---|
| General[一般] | スナップショットは、ユーザー定義のスケジュールに従って作成されます。 |
| Event[イベント] | スナップショットは、アラーム、モーション検出、カメラ改ざん、またはシステム イベントが発生するたびに作成されます。 |

Image Size[画像サイズ]

画像サイズは、メインストリーム解像度の設定によって決まります。設定することはできません。(解像度ページ 34 を参照してください)。

品質

Quality[品質]を 1 (最低) ~ 6 (最高) の値に設定します。

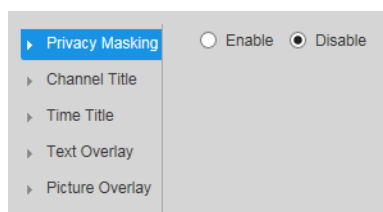
間隔

スナップショットの頻度として、1 スナップショット/秒 (1s) ~ 7 スナップショット/秒 (7s) を選択するか、Customized[カスタマイズ]をクリックして、1 ~ 50,000 秒のカスタム設定を定義します。

Save[保存]をクリックして設定を適用します。

プライバシー マスクの設定

プライバシー マスクのプロパティは、Setup[設定] > Compression Setup[圧縮設定] > Overlay[オーバーレイ] > Privacy[プライバシー] ページで設定できます。



プライバシー マスクを有効にするには、Enable[有効]をクリックします。プレビュー ウィンドウに4つのプライバシー マスクが表示されます。



不要なマスクを削除します。マスクを削除するには、マスクを右クリックするか、マスクを選択して **Delete[削除]** をクリックします。すべてのマスクを削除するには、**Remove All [すべて削除]** をクリックします。

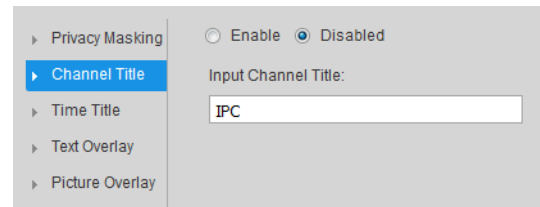
マスクを移動するには、マスクを選択して、マスクの中心をドラッグします。

マスクのサイズを変更するには、コーナーのいずれかのハンドルをドラッグします。新しいマスクを描画するには、プレビュー ウィンドウの任意の場所でマウスをドラッグします。

Save[保存] をクリックして設定を適用します。

チャンネルタイトルの設定

チャンネル タイトルのプロパティは、**Setup[設定] > Compression Setup[圧縮設定] > Overlay[オーバーレイ] > Channel Title[チャンネル タイトル]** ページで設定できます。



チャンネル タイトルを表示するには、**Enable[有効]** をクリックし、**Save[保存]** をクリックします。デフォルトでは、チャンネル タイトルは、ビデオ画像の左下隅に表示されます。

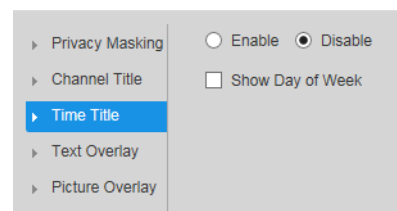
チャンネル タイトルを移動するには、黄色の **Channel Title[チャンネル タイトル]** ボックスをプレビュー ウィンドウの目的の場所にドラッグし、**Save[保存]** をクリックします。

チャンネル タイトルを変更するには、**Input Channel Title[入力チャンネル タイトル]** フィールドに新しいタイトルを入力し、**Save[保存]** をクリックします。

チャンネル タイトルを非表示にするには、**Disable[無効]** をクリックし、**Save[保存]** をクリックします。

時間タイトルの設定

時間タイトルのプロパティは、**Setup[設定] > Compression Setup[圧縮設定] > Overlay[オーバーレイ] > Time Title[時間タイトル]** ページで設定できます。



チャンネル タイトルを表示するには、**Enable[有効]** をクリックし、**Save[保存]** をクリックします。デフォルトでは、チャンネル タイトルは、ビデオ画像の右上隅に表示されます。

曜日表示するには、**Show Day of Week[曜日]** チェック ボックスをオンにし、**Save[保存]** をクリックします。

時間タイトルを移動するには、黄色の **Time Title[時間タイトル]** ボックスをプレビュー ウィンドウの目的の場所にドラッグし、**Save[保存]** をクリックします。

時間タイトルを非表示にするには、**Disable[無効]** をクリックし、**Save[保存]** をクリックします。

カスタマイズされたテキスト オーバーレイの設定

カスタマイズされたテキスト オーバーレイは、**Setup[設定] > Compression Setup[圧縮設定] > Overlay[オーバーレイ] > Text Overlay[テキストオーバーレイ]** ページで設定できます。

テキスト オーバーレイを表示するには、**Enable[有効]** をクリックし、**Input Text[テキスト入力]** フィールドに目的のテキストを入力して、**Save[保存]** をクリックします。デフォルトでは、テキスト オーバーレイは、ビデオ画像の右下隅に表示されます。

Text Alignment[テキスト揃え] を **Left[左]** または **Right[右]** に設定します。

テキスト オーバーレイを移動するには、黄色の **Text Overlay[テキスト オーバーレイ]** ボックスをプレビュー ウィンドウの目的の場所にドラッグし、**Save[保存]** をクリックします。

テキスト オーバーレイを非表示にするには、**Disable[無効]** をクリックして、**Save[保存]** をクリックします。

ピクチャ オーバーレイの設定

ピクチャ オーバーレイは、**Setup[設定] > Compression Setup[圧縮設定] > Overlay[オーバーレイ] > Picture Overlay[ピクチャ オーバーレイ]** ページで設定できます。

ピクチャ オーバーレイを表示するには、**Enable[有効]** をクリックし、**Upload Picture[画像のアップロード]** をクリックして画像をアップロードし、**Save[保存]** をクリックします。ファイルはBMP形式、16 KB未滿、128×128ピクセル以下である必要があります。

ピクチャ オーバーレイを移動するには、黄色のフレームをプレビュー ウィンドウの目的の場所にドラッグし、**Save[保存]** をクリックします。

ピクチャ オーバーレイを非表示にするには、**Disable[無効]** をクリックして、**Save[保存]** をクリックします。

ROI領域の設定

ROI領域は、**Setup[設定] > Compression Setup[圧縮設定] > ROI** ページで設定できます。

ROI機能を有効にするには、**Enable[有効]** をクリックします。

プレビュー ウィンドウで、ROI領域として指定するシーンの部分をマウスでドラッグし、**Image Quality[画質]** レベルを1（最低）～6（最高）で選択し、**Save[保存]** をクリックします。最大4つのROI領域を追加できます。

1つのROI領域を削除するには、領域を選択して、**Delete[削除]** をクリックします。すべてのROI領域を削除するには、**Remove All[すべて削除]** をクリックします。

オーディオ設定の構成

メインストリーム、サブストリーム1、およびサブストリーム2プロファイルのオーディオ設定は、Setup[設定] > Audio Setup[オーディオ設定] > Audio[オーディオ]ページで構成できます。

ストリームのオーディオを有効にするには、Enable[有効]チェックボックスをオンにし、形式 (G.711A、G.711Mu、G.726、AAC) を選択して、サンプリング頻度 (8–64 kHz) を選択します。

Properties[プロパティ]エリアで、オーディオ入力タイプ (LineIn[ライン入力]、Mic[マイク]) を選択し、ノイズフィルタリングを有効または無効にして、スライダーを動かしてマイクまたはスピーカーの音量を調整します。プラス記号 (-) とマイナス記号 (+) をクリックして、微調整を行います。

Save[保存] をクリックして設定を適用します。

5

ネットワーク設定の構成

この章は以下の項で構成されています。

- [TCP/IPの設定、ページ42](#)
- [ネットワーク接続の構成、ページ44](#)
- [ONVIFの設定、ページ45](#)
- [PPPoE設定の構成、ページ45](#)
- [DDNS設定の構成、ページ46](#)
- [IP/MACアドレスのフィルタリング、ページ47](#)
- [電子メール設定の構成、ページ49](#)
- [UPnPポートマッピングの設定、ページ50](#)
- [SNMP設定の構成、ページ51](#)
- [Bonjourの設定、ページ52](#)
- [マルチキャスト設定の構成、ページ52](#)
- [802.1X設定の構成、ページ53](#)
- [QoS設定の構成、ページ53](#)
- [証明書の操作、ページ54](#)

TCP/IP の設定

Setting[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] > TCP/IP ページで、IPv4/IPv6 や ARP/Ping の設定を含む TCP/IP の設定を行うことができます。

Hostname	HCD8G
Ethernet Card	Wire(Default)
Mode	<input type="radio"/> Static <input checked="" type="radio"/> DHCP
MAC Address	00 . 1f . 55 . 2d . 07 . 16
IP Version	IPv4
IP Address	159 . 99 . 251 . 86
Subnet Mask	255 . 255 . 255 . 0
Default Gateway	159 . 99 . 251 . 1
Preferred DNS Server	199 . 63 . 219 . 166
Alternate DNS Server	165 . 195 . 30 . 99
<input checked="" type="checkbox"/> Enable ARP/Ping	

Default Refresh Save

IPv4 アドレス設定

デフォルトでは、カメラは、IPv4 を使用し、DHCP 経由で IP 設定を自動的に取得します。

Hostname[ホスト名]フィールドに、カメラのニックネームを入力します。このニックネームは、IP アドレスにマッピングし、カメラの識別に使用できます。

IP アドレス設定を手動で割り当てるには、Mode[モード]をStatic[静的]に設定し、IP Address [IP アドレス]、Subnet Mask[サブネットマスク]、および Default Gateway[デフォルトゲートウェイ]フィールドの値を置き換えます。

DNS サーバー アドレスを手動で割り当てるには、Preferred DNS Server[優先 DNS サーバー]フィールドと Alternate DNS Server[代替 DNS サーバー]フィールドの値を置き換えます。

Save[保存]をクリックして設定を適用します。

IPv6 アドレス設定

IPv6 を有効にするには、IP Version[IP バージョン]を IPv6 に設定します。IP アドレスとデフォルトゲートウェイ（ルーター）アドレスが同じネットワークセグメントにあることを確認します。Save[保存]をクリックして設定を適用します。

The screenshot shows the TCP/IP configuration interface. The 'IP Version' dropdown menu is set to 'IPv6' and is highlighted with a red rectangular box. Other visible settings include Hostname: HCD8G, Ethernet Card: Wire(Default), Mode: Static (selected), MAC Address: 00 . 1f . 55 . 2d . 07 . 16, Link Address: fe80::021f:55ff:fe2d:0716/64, IP Address: 2001:250:3000:1::1:2 / 112, Default Gateway: 2001:250:3000:1::1:1, Preferred DNS Server: 2001:da8:2000:2017::33, Alternate DNS Server: 2001:da8:2000:2193::33, and the 'Enable ARP/Ping' checkbox is checked. Buttons for Default, Refresh, and Save are at the bottom.

ARP/Ping

ARP/Ping サービスを使用してカメラに IP アドレスを割り当てることができます。

IP アドレスを設定するために ARP/Ping を有効にするには：

1. PC と同じ LAN で未使用の IP アドレスを取得します。
2. カメラの MAC アドレスを書き留めます（ラベルに記載されています）。
3. **Enable ARP/Ping[ARP/Ping の有効化]** チェックボックスをオンにして、Save[保存]をクリックします。

The screenshot shows the TCP/IP configuration interface with IPv4 settings. The 'Enable ARP/Ping' checkbox is checked and highlighted with a red rectangular box. Other visible settings include Hostname: HCD8G, Ethernet Card: Wire(Default), Mode: DHCP (selected), MAC Address: 00 . 1f . 55 . 2d . 07 . 16, IP Version: IPv4, IP Address: 159 . 99 . 251 . 86, Subnet Mask: 255 . 255 . 255 . 0, Default Gateway: 159 . 99 . 251 . 1, Preferred DNS Server: 199 . 63 . 219 . 166, Alternate DNS Server: 165 . 195 . 30 . 99. Buttons for Default, Refresh, and Save are at the bottom.

4. PCの**コマンド プロンプト** ウィンドウを開き（Windows 7では、**スタート > すべてのプログラム > アクセサリ > コマンド プロンプト**の順にクリックします）、使用しているオペレーティング システムに適したコマンドを入力します。

Windows syntax
arp -s <IP Address> <MAC> ping -l 480 -t <IP Address>
Windows example
arp -s 192.168.0.125 11-40-8c-18-10-11 ping -l 480 -t 192.168.0.125

UNIX/Linux/Mac syntax
arp -s <IP Address> <MAC> ping -s 480 <IP Address>
UNIX/Linux/Mac example
arp -s 192.168.0.125 11:40:8c:18:10:11 ping -s 480 192.168.0.125

5. カメラを再起動します。セットアップが正常に完了すると、コマンド プロンプト ウィンドウに「Reply from」とIPアドレス（例：「Reply from 192.168.0.125 ...」）が表示されます。

IPアドレスが機能していることを確認するには、ブラウザを開き、アドレスバーに **http://**とその後にIPアドレス（例：http://192.168.0.125）を入力して、Enterキーを押します。

ネットワーク接続の構成

ネットワーク接続およびポートの設定は、**Setup[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] > Connection[接続] > Connection[接続]**ページで行うことができます。

Connection	ONVIF
Max Connections	<input type="text" value="10"/> (1-20)
TCP Port	<input type="text" value="37777"/> (1025-65534)
UDP Port	<input type="text" value="37778"/> (1025-65534)
HTTP Port	<input type="text" value="80"/>
RTSP Port	<input type="text" value="554"/>
HTTPS Port	<input type="text" value="443"/>
<input type="button" value="Default"/> <input type="button" value="Refresh"/> <input type="button" value="Save"/>	

デフォルトでは、カメラがサポートする同時接続の最大数は**10**に設定されています。この設定を変更するには、**Max Connections[最大接続数]**フィールドに、**1～20**の値を入力します。

必要な場合は、TCP、UDP、HTTP、RTSP、HTTPSのポート番号をデフォルトから変更します。

Save[保存]をクリックして設定を適用します。

ONVIFの設定

ONVIF（Open Network Video Interface Forum）は、IPベースの物理的なセキュリティ製品の相互運用性のためのグローバルスタンダードです。

ONVIF認証は、**Setup[設定]** > **Network Setup[ネットワーク設定]** > **Connection[接続]** > **ONVIF** ページで有効または無効にすることができます。

ONVIFログイン認証は、デフォルトで有効になっています。無効にするには、**OFF**を選択し、**Save[保存]**をクリックします。

Note HTTPSはデフォルトでは有効です。ヘッドエンドがONVIF HTTPのみをサポートしている場合、**HTTPS Setting[HTTPS設定]** チェックボックスをオフにして、**Save[保存]**をクリックすることで、HTTPSを無効にすることができます。接続がセキュリティ保護されなくなったことを示す警告メッセージが表示されます。

PPPoE設定の構成

PPPoE（Point-to-Point Protocol over Ethernet）設定は、**Setup[設定]** > **Network Setup[ネットワーク設定]** > **PPPoE** ページで構成できます。

PPPoEを有効にするには：

1. **Enable[有効化]** チェックボックスをオンにします。
2. **User Name[ユーザー名]** と **Password[パスワード]** フィールドに、インターネットサービスプロバイダ（ISP）から受け取ったユーザー名とパスワードを入力します。
3. **Save[保存]** をクリックして設定を適用します。カメラは再起動後にPPPoE経由でインターネットに接続します。

DDNS 設定の構成

ダイナミック DNS (DDNS) の設定は、**Setup[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] > DDNS** ページで行うことができます。

DDNS サービスを使用してカメラの動的 IP アドレスを追跡および更新できるため、数値の IP アドレスが変更されても DDNS アドレスは常に同じままになります。

DDNS サービスを使用してカメラにアクセスするには：

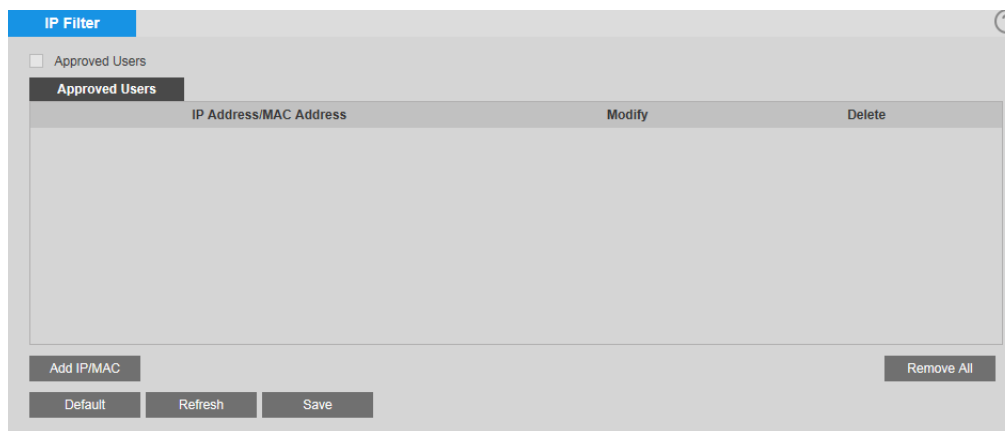
1. DynDNS や Honeywell の無料 DDNS サービス (www.hennvr-ddns.com) など、サポートされている DDNS サービスにアカウントを登録します。
2. **Server Type[サーバーの種類]** チェック ボックスをオンにします。
3. **Server Type[サーバーの種類]** ドロップダウンリストから DDNS サービスを選択します。
4. **Domain Name[ドメイン名]** フィールドに、DDNS サービスに登録したドメイン名 (ホスト名) (mycamera.dyndns.org など) を入力します。
5. **User Name[ユーザー名]** と **Password[パスワード]** フィールドに、手順 1 で登録したアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
6. **Update Period[更新期間]** フィールドに、DDNS サーバーに送信されるアドレス更新の間隔を分単位で入力します。

Note DDNS サービスとして Honeywell DDNS を選択した場合、ドメイン名はデフォルトでカメラの MAC アドレスに設定され、ユーザー名やパスワードは必要ありません。 **Mode[モード]** を **Auto[自動]** または **Manual[手動]** に設定します。ドメイン名を手動で設定する場合、**Test[テスト]** をクリックして、ドメイン名が登録されていることを確認します。

7. **Save[保存]** をクリックして設定を適用します。ブラウザのアドレス バーにドメイン名を入力すると、カメラにアクセスできるようになります。

IP/MAC アドレスのフィルタリング

IP フィルタ設定は、Setting[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] > IP Filter[IP フィルタ] ページで行うことができます。

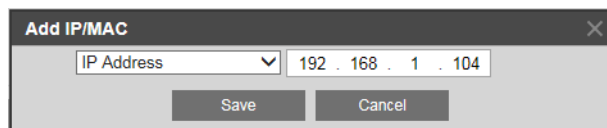


IP フィルタを有効にすると、カメラへのリモート アクセスは特定の IP アドレスまたは MAC アドレスに制限されます。アドレスは、いつでもリストに追加したり、リストから削除したりできます。ユーザーが WAN 経由でカメラにアクセスしている場合は、IP アドレスではなく、ユーザーのルーターの MAC アドレスを入力します。

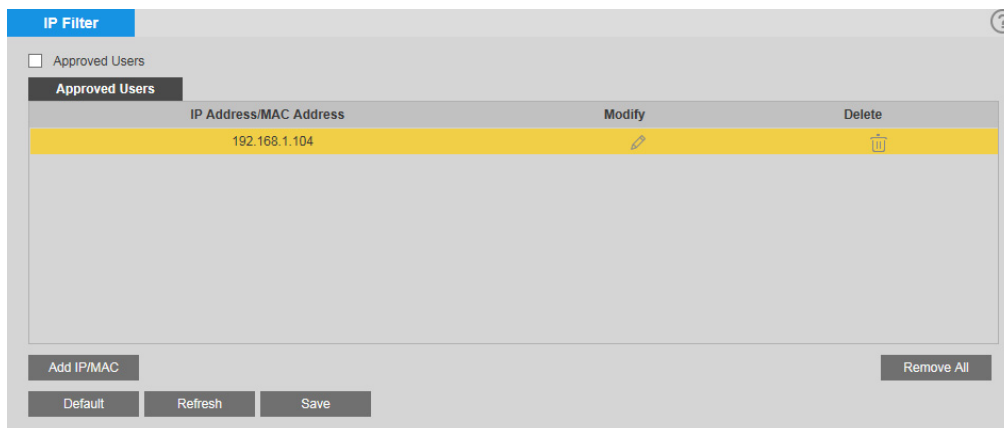
承認済みユーザーのリストへの IP/MAC アドレスの追加

IP/MAC アドレスを追加するには：

1. Add IP/MAC[IP/MAC を追加]をクリックします。
2. Add IP/MAC[IP/MAC を追加]ウィンドウで、ドロップダウン リストから IP Address [IP アドレス]、IP Segment[IP セグメント]、または MAC を選択し、適切なアドレスを入力して、Save[保存]をクリックします。



承認済みユーザーのリストにアドレスが追加されます。

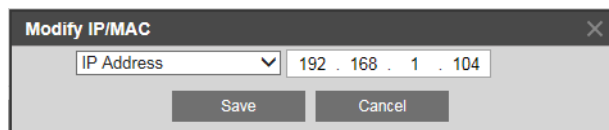


3. Approved Users[承認済みユーザー]チェックボックスをオンにし、Save[保存]をクリックして設定を適用します。

IP/MACアドレスの編集

IP/MACアドレスを編集するには：

1. Address List[アドレスリスト]で、変更したいアドレスの Modify[変更]アイコン をクリックします。
2. Modify IP/MAC[IP/MACを変更]ウィンドウで、必要に応じてアドレスを編集し、Save[保存]をクリックします。



承認済みユーザーのリストからのIP/MACアドレスの削除

単一のIP/MACアドレスを削除するには：

1. Address List[アドレスリスト]で、削除したいアドレスの Delete[削除]アイコン をクリックします。
2. 確認メッセージが表示されます。OKをクリックして続行し、Save[保存]をクリックして設定を適用します。承認済みユーザーのリストからアドレスが削除されます。

複数のIP/MACアドレスを削除するには：

1. Remove All[すべて削除]をクリックします。
2. 確認メッセージが表示されます。OKをクリックして続行し、Save[保存]をクリックして設定を適用します。承認済みユーザーのリストからすべてのアドレスが削除されます。

電子メール設定の構成

電子メール通知の設定は、Setting[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] > SMTP ページで行うことができます。

Eメール通知を設定するには：

1. SMTP Server[SMTPサーバー]およびPort[ポート]フィールドに、SMTPサーバーとポートの情報を入力します。
2. User Name[ユーザー名]およびPassword[パスワード]フィールドに、送信者のメールアドレスとパスワードを入力します。また、サーバーが匿名ログインをサポートしている場合は、Anonymous[匿名]チェックボックスをオンにして、ユーザー名とパスワードなしでログインすることもできます。
3. 送信者のEメールアドレスをSender[送信者]フィールドに入力します。
4. Authentication[認証]リストから暗号化モード（SSLまたはTLS）を選択するか、None[なし]を選択します。
5. Title[タイトル]フィールドに、Eメールの件名に表示するテキストを入力します。
6. スナップショット添付ファイルを有効にする場合は、Attachment[添付ファイル]チェックボックスをオンにします。
7. Mail Receiver[メール受信者]フィールドに受信者のEメールアドレスを入力し、+記号をクリックしてリストに追加します。最大3つの電子メールアドレスを入力できます。リストからアドレスを削除するには、そのアドレスを選択して、-記号をクリックします。
8. Interval[間隔]フィールドで、Eメール通知メッセージの間隔を指定します。0（間隔なし）～3600秒（1時間）の値を入力します。

Note Eメール通知の間隔を設定すると、複数の通知が同時にトリガーされた場合に、Eメール サーバーの負荷が軽減されます。

9. Eメール通知の設定が機能していることを定期的を確認するには、**Send Health Messages[ヘルス メッセージの送信]**チェック ボックスをオンにし、**Interval[間隔]**を指定します。
10. **Save[保存]**をクリックして設定を適用します。
11. **Email Test[Eメール テスト]**をクリックしてテストEメールを送信し、設定が正しく構成されていることを確認します。

UPnP ポート マッピングの設定

UPnP (ユニバーサル プラグ アンド プレイ) の設定は、**Setup[設定] > Network Setup [ネットワーク設定] > UPnP** ページで行うことができます。

UPnP

Enable Mode: **Manual** Router State: **Mapping Failed**

Port Mapping List						
	Service Name	Protocol	Internal Port	External Port	Status	Modify
<input checked="" type="checkbox"/>	HTTP	WebService.TCP	80	8080	Mapping Failed	
<input checked="" type="checkbox"/>	TCP	PrivService.TCP	37777	37777	Mapping Failed	
<input checked="" type="checkbox"/>	UDP	PrivService.UDP	37778	37778	Mapping Failed	
<input checked="" type="checkbox"/>	RTSP	RTSPService.TCP	554	554	Mapping Failed	
<input checked="" type="checkbox"/>	HTTPS	HTTPSService.TCP	443	443	Mapping Failed	

Default Refresh Save

UPnP プロトコルは、Windows を実行しているクライアントでネットワーク デバイスを検出するために使用されます。

UPnP を有効にするには、**Enable[有効]**チェック ボックスをオンにします。カメラは、Windows の内蔵ネットワーク ブラウザ (Windows XP では[マイ ネットワーク]、Windows では[ネットワーク]) で検出できるようになります。

Windows XP で UPnP を有効にするには：

1. **スタート > コントロール パネル > プログラムの追加と削除**に移動します。
2. **プログラムの追加と削除**をクリックして、Windows コンポーネント ウィザードから**ネットワーク サービス**を選びます。
3. **詳細**をクリックして、**インターネット ゲートウェイ デバイスの検出とクライアントの制御および UPnP ユーザー インターフェース**を選択します。
4. **OK**をクリックしてインストールを始めます。

Windows 7でUPnPを有効にするには：

1. スタート > コントロール パネル > ネットワークとインターネット > ネットワークと共有センターに移動します。
2. 左ペインで、共有の詳細設定の変更をクリックします。
3. 現在のネットワーク プロファイルのネットワーク探索領域で、ネットワーク探索を有効にするをクリックし、変更の保存をクリックします。

SNMP 設定の構成

SNMP (Simple Network Management Protocol) の設定は、Setup[設定] > Network Setup [ネットワーク設定] > SNMP ページで行うことができます。

SNMPは、ネットワーク上の管理対象デバイス間で管理情報を収集、整理、交換するためのプロトコルです。

SNMPを有効にするには：

1. SNMP Version[SNMPバージョン]の横で、使用するSNMPバージョンを選択します。最も強固なセキュリティを実現するには、SNMPv3を使用します。SNMPv1のみ、SNMPv2のみ、SNMPv1とSNMPv2の両方、またはSNMPv3のみを選択できます。

Note SNMPv1 または SNMPv2 を選択すると、警告メッセージが表示されます。

2. デフォルトでは、SNMP Port[SNMPポート]は161に設定されています。ポートを変更するには、1-65535の範囲内の番号を入力します。
3. Trap Address[トラップアドレス]フィールドに、トラップ通知が送信されるSNMPサーバーのIPアドレスを入力します。
4. デフォルトでは、Trap Port[トラップポート]は162に設定されています。ポートを変更するには、1-65535の範囲内の番号を入力します。
5. SNMPv3が選択されている場合、読み取り専用と読み取り/書き込みの両方で、ユーザー名を入力し、認証方式 (MD5またはSHA) を選択して、認証と暗号化のパスワード (8文字以上) を作成します。
6. Save[保存]をクリックして設定を適用します。

Bonjour の設定

Bonjour の設定は、Setting[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] > Bonjour ページで行うことができます。

Bonjour は、ユーザーが設定しなくてもデバイスが相互に検出できるネットワークを作成できる設定不要のネットワーク アプリケーションです。

この機能を有効にすると、Safari を開いて Display All Bookmarks[すべてのブックマークの表示] > Bonjour に移動することで、Mac OS コンピューター上のカメラを検出できます。

Bonjour はデフォルトでは有効です。無効するには、Enable[有効] チェック ボックスをオフにして、Save[保存] をクリックします。

マルチキャスト設定の構成

マルチキャストの設定は、Setting[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] > Multicast [マルチキャスト] ページで行うことができます。

マルチキャストは、複数のコンピューターが同じデータ パケットを同時に受信している場合に、帯域幅の使用と CPU 負荷を最小限に抑えるデータ パケットの伝送モードです。メイン ストリーム、サブ ストリーム 1、およびサブ ストリーム 2 のプロファイルのマルチキャストを設定できます。

マルチキャストを有効にするには：

1. マルチキャストを有効にするストリームごとに、Enable[有効] チェック ボックスをオンにし、推奨範囲を参考にしてマルチキャスト アドレスとポートを入力します。
2. Save[保存] をクリックして設定を適用します。

マルチキャスト モードでビデオを表示するには：

- Live[ライブ] ビューで、Protocol[プロトコル] ドロップダウン リストから Multicast [マルチキャスト] を選択します。

802.1X 設定の構成

802.1X 設定は、Setting[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] > 802.1X ページで行うことができます。

802.1X は、ポートベースのネットワーク アクセス コントロール プロトコルで、不正なデバイスが LAN にアクセスするのを防止します。ネットワーク スイッチによってブロックされないように、カメラのユーザー名とパスワードの資格情報を設定できます。

802.1X を有効にするには：

1. Enable[有効化] チェック ボックスをオンにします。
2. User Name[ユーザー名] フィールドに、カメラの認証に使用するユーザー名を入力します。
3. Password[パスワード] フィールドに、カメラの認証に使用するパスワードを入力します。
4. Save[保存] をクリックして設定を適用します。

QoS 設定の構成

QoS (Quality of Service) の設定は、Setup[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] > QoS ページで行うことができます。

QoS 設定は、特定のデータ パケットを他のパケットよりも優先することで、帯域幅の使用を制御します

QoS を有効にするには：

1. Realtime Monitor[リアルタイム監視] フィールドに、ライブ ビデオ パケットの DSCP (Differentiated Services Codepoint) 値を入力します。0 (最低優先度) ~ 63 (最高優先度) の値を選択します。
2. Command[コマンド] フィールドに、ビデオ以外のパケットの DSCP (Differentiated Services Codepoint) 値を入力します。0 (最低優先度) ~ 63 (最高優先度) の値を選択します。
3. Save[保存] をクリックして設定を適用します。

証明書の操作

証明書の設定は、**Setup[設定]** > **Network Setup[ネットワーク設定]** > **Certificate[証明書]** ページで行うことができます。

Honeywell 署名付きのルート証明書をインストールするには：

1. **Export[エクスポート]** をクリックし、PC で証明書 (ca.crt) を保存するディレクトリに移動して、**Save[保存]** をクリックします。
2. 証明書を保存したディレクトリに移動し、証明書をダブルクリックします。 **Certificate [証明書]** ウィンドウが開きます。
3. **Certificate[証明書]** ウィンドウの **General[全般]** タブで、**Install Certificate[証明書のインストール]** をクリックして、証明書のインポート ウィザードを開きます。
4. **Next[次へ]** をクリックして続行してください。
5. **Place all certificates in the following store[すべての証明書を次のストアに配置する]**、**Browse[参照]**、**Trusted Root Certification Authorities[信頼されたルート証明機関]** の順にクリックし、**OK** をクリックします。
6. **Next[次へ]** をクリックし、**Finish[完了]** をクリックして証明書のインポート ウィザードを閉じます。確認ダイアログボックスが表示され、「The import was successful」 [インポートが成功しました] というメッセージが表示されます。
7. **OK** をクリックし、もう一度 **OK** をクリックして **Certificate[証明書]** ウィンドウを閉じます。

証明書またはプライベート キーをインポートするには：

- **CA** または **Key[キー]** の横にある **Browse[参照]** をクリックし、PC 上の証明書またはキーの場所に移動して、**Import[インポート]** をクリックします。

6

イベント設定の構成

この章は以下の項で構成されています。

- [アラーム イベントの設定、ページ 55](#)
- [システム イベントの設定、ページ 57](#)
- [モーション検出イベントの設定、ページ 59](#)
- [カメラ不正干渉イベントの設定、ページ 62](#)
- [シーン変更イベントの設定、ページ 63](#)
- [オーディオ イベントの設定、ページ 64](#)
- [拡張ビデオ分析へのアクセス、ページ 65](#)

アラーム イベントの設定

アラーム イベントの設定は、Setup[設定] > Alarm Setup[アラーム設定] > Alarm Setup [アラーム設定] ページで行います。

Alarm Activation

Enable

Alarm Input: Alarm1

Alarm Period: Setup

Anti-Dither: 0 seconds (0-100) Sensor Type: NO

Record

Record Delay: 10 seconds (10-300)

Alarm Output

Alarm Delay: 10 seconds (10-300)

Send Email

Snapshot

Default Refresh Save

アラーム機能を有効にするには：

1. Enable[有効化]チェックボックスをオンにします。
2. Alarm Input[アラーム入力]リストから、設定するアラーム入力（Alarm1 または Alarm2）を選択します。

- Alarm Period[アラーム期間]の横にある Setup[設定]をクリックします。 Alarm Period [アラーム期間]ウィンドウが開きます。

- アラーム機能をアクティブにする日時を設定し、 Save[保存]をクリックします。
- Anti-dither[アンチディザ]フィールドに、アンチディザ時間を秒単位で入力します。 0～100秒の値を入力します。この期間内に許可されるアラームイベントは1つだけです。
- アラーム入力タイプに応じて、 Sensor Type[センサータイプ]を NO (ノーマルオープン) または NC (ノーマルクローズ) に設定します。
- アラームイベントが検出されたときにビデオの録画を開始するには、 Record[録画]チェックボックスをオンにします。
- Record Delay[録画遅延]フィールドに、アラームイベントが終了した後にシステムがビデオの録画を継続する時間 (秒数) を入力します。 10～300の値を選択します。
- アラームイベントが検出されたときにアラーム出力を生成するには、 Alarm Output [アラーム出力]チェックボックスをオンにし、アクティブにするアラーム出力を選択します。
- Alarm Delay[アラーム遅延]フィールドに、アラームイベントが終了した後にシステムがアラーム出力の生成を継続する時間 (秒数) を入力します。 10～300の値を選択します。
- アラームイベントが検出されたときにEメール通知を送信するには、 Send Email[Eメール送信]チェックボックスをオンにします。 Eメールの設定は Setup[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] > SMTP (Email)[SMTP (Eメール)]で行う必要があります。 49ページの「電子メール設定の構成」ページ 49
- アラームイベントが検出されたときにスナップショットを撮るには、 Snapshot[スナップショット]チェックボックスをオンにします。

Note スナップショットをEメール通知に添付するには、**Setup[設定]>Network Setup[ネットワーク設定]>SMTP (Email)[SMTP (Eメール)]**で **Attachment[添付ファイル]**チェックボックスをオンにする必要があります。49ページの「[電子メール設定の構成](#)」ページ49

13. **Save[保存]**をクリックして設定を適用します。

システム イベントの設定

Setup[設定]>Alarm Setup[アラーム設定]>Event[イベント]ページで、システム イベント設定 (SD カード エラー、ネットワーク エラー、不正なログイン試行) を設定できます。

SD カード イベント設定の構成

SD カード イベントには、次の3種類があります。

- **No SD Card[SD カードなし]**：カメラに microSD カードが取り付けられていません。
- **SD Card Error[SD カード エラー]**：取り付けられている microSD カードが動作していません。
- **Capacity Warning[容量警告]**：取り付けられている microSD カードがいっぱいになっています。

イベントのタイプごとに設定を行うことができます。

SD カード イベント検出を有効にするには：

1. **SD Card[SD カード]** タブで、設定するイベント タイプを **Event Type[イベント タイプ]** リスト (No SD Card[SD カードなし]、SD Card Error[SD カード エラー]、または Capacity Warning[容量警告]) から選択します。
2. **Enable[有効化]** チェックボックスをオンにします。
3. イベントが検出されたときにアラーム出力を生成するには、**Alarm Output[アラーム出力]** チェックボックスをオンにし、アクティブにするアラーム出力を選択します。
4. **Alarm Delay[アラーム遅延]** フィールドに、イベントが終了した後にシステムがアラーム出力の生成を継続する時間 (秒数) を入力します。10～300の値を選択します。
5. イベントが検出されたときにEメール通知を送信するには、**Send Email[Eメール送信]** チェックボックスをオンにします。Eメールの設定は**Setup[設定]>Network Setup[ネットワーク設定]>SMTP (Email)[SMTP (Eメール)]**で行う必要があります。49ページの「[電子メール設定の構成](#)」ページ49
6. **Save[保存]**をクリックして設定を適用します。

ネットワーク イベント設定の構成

ネットワーク イベントには次の 2 種類があります。

- **Network Disconnected[ネットワーク切断]**：カメラがオフラインです。
- **IP Conflict[IP 競合]**：カメラの IP アドレスは、ネットワーク上の別のデバイスと同じになっています。

イベントのタイプごとに設定を行うことができます。

ネットワーク イベントの検出を有効にするには：

1. Network[ネットワーク] タブで、Event Type[イベント タイプ] リスト（Network Disconnected[ネットワーク切断] または IP Conflict[IP 競合]）から設定するイベントタイプを選択します。
2. Enable[有効化] チェック ボックスをオンにします。
3. IP Address[IP アドレス] フィールドにヘッドエンドの IP アドレスを入力し、Time[時間] フィールドにカウントダウン時間を入力します。指定された時間内に IP アドレスとの接続が確立されない場合、システムはネットワーク切断イベントを検出します。
4. イベントが検出されたときにビデオの録画を開始するには、Record[録画] チェック ボックスをオンにします。
5. Record Delay[録画遅延] フィールドに、イベントが終了した後にシステムがビデオの録画を継続する時間（秒数）を入力します。10～300の値を選択します。
6. イベントが検出されたときにアラーム出力を生成するには、Alarm Output[アラーム出力] チェック ボックスをオンにし、アクティブにするアラーム出力を選択します。
7. Alarm Delay[アラーム遅延] フィールドに、イベントが終了した後にシステムがアラーム出力の生成を継続する時間（秒数）を入力します。10～300の値を選択します。
8. Save[保存] をクリックして設定を適用します。

不正アクセス イベント設定の構成

不正アクセス イベントは、ログイン失敗回数が指定された回数を超えた場合に発生します。

不正アクセス検出を有効にするには：

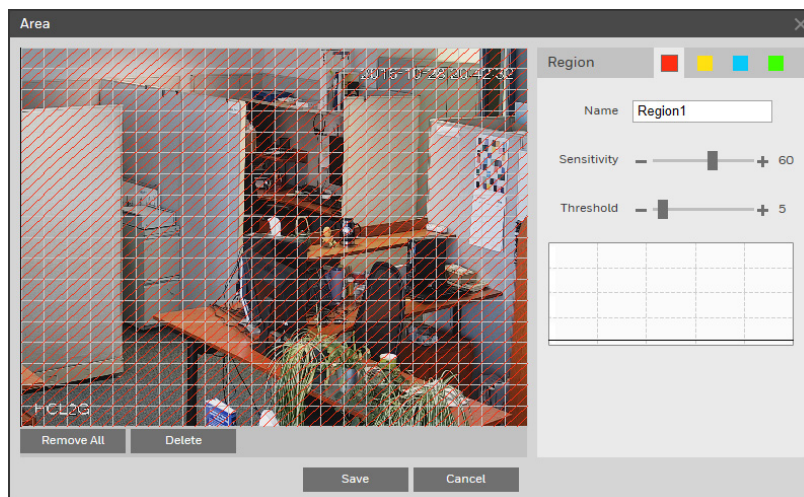
1. Illegal Access[不正アクセス]タブで、Enable[有効]チェックボックスをオンにします。
2. Failed Login Attempts[ログイン試行の失敗]フィールドに、不正アクセス イベントが検出されるまでにシステムが許可するログイン試行の失敗回数を入力します。3～10の値を選択します。
3. イベントが検出されたときにアラーム出力を生成するには、Alarm Output[アラーム出力]チェックボックスをオンにし、アクティブにするアラーム出力を選択します。
4. Alarm Delay[アラーム遅延]フィールドに、イベントが終了した後にシステムがアラーム出力の生成を継続する時間（秒数）を入力します。10～300の値を選択します。
5. 不正アクセス イベントが検出されたときにEメール通知を送信するには、Send Email[Eメール送信]チェックボックスをオンにします。Eメールの設定はSetup[設定]>Network Setup[ネットワーク設定]>SMTP (Email)[SMTP (Eメール)]で行う必要があります。[電子メール設定の構成](#)ページ49

モーション検出イベントの設定

モーション検出イベントの設定は、Setup[設定]>Video Analytics[ビデオ分析]>Video Detection[ビデオ検出]>Motion Detection[モーション検出]ページで構成できます。

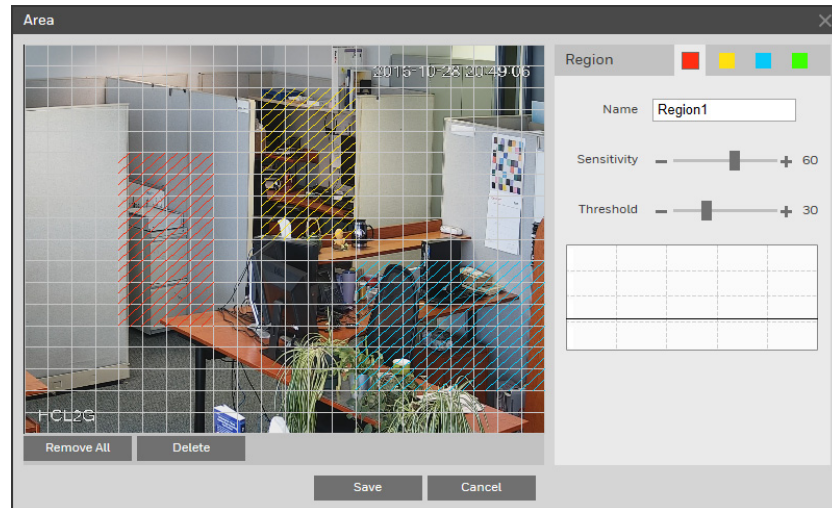
モーション検出を有効にするには：

1. Enable[有効化]チェックボックスをオンにします。
2. Alarm Period[アラーム期間]の横にあるSetup[設定]をクリックします。Alarm Period [アラーム期間]ウィンドウが開きます。
3. アラーム機能をアクティブにする日時を設定し、Save[保存]をクリックします。
4. Anti-dither[アンチディザー]フィールドに、アンチディザー時間を秒単位で入力します。0～100秒の値を入力します。この期間内に許可されるモーション検出イベントは1つだけです。
5. モーション検出エリアを設定するには以下を実行します。
 - a. Area[領域]の横にあるSetup[設定]をクリックします。Area[領域]ウィンドウが開きます。



- b. デフォルトでは、ビデオ ウィンドウ全体がモーション検出領域として設定されます。より小さい領域を定義するには、選択を解除する領域の上にマウスをドラッグするか、Remove All[すべて削除]をクリックしてから、マウスで領域を再描画します。
- c. 最大4つのモーション検出プロファイル（領域）を定義し、各プロファイルに、異なる感度としきい値を設定できます。Region[領域]の横にある単色のタイルの1つをクリックして領域を選択します。Sensitivity[感度]およびThreshold[しきい値]のスライダーを目的の値までドラッグします。マイナス記号 (-) とプラス記号 (+) をクリックして、微調整を行います。

Sensitivity[感度]では、モーションと見なされるシーンの変化量を測定します。しきい値は、モーション検出イベントをトリガーするために必要なシーンの動きの量を測定します。



- d. **Save[保存]**をクリックして設定を適用します。
6. モーションが検出されたときに録画を開始するには、**Record[録画]**チェックボックスがオンになっていることを確認します。
7. **Record Delay[録画遅延]**フィールドに、イベントが終了した後にシステムがビデオの録画を継続する時間（秒数）を入力します。10～300の値を選択します。
8. モーションが検出されたときにアラーム出力を生成するには、**Alarm Output[アラーム出力]**チェックボックスをオンにし、アクティブにするアラーム出力を選択します。
9. **Alarm Delay[アラーム遅延]**フィールドに、イベントが終了した後にシステムがアラーム出力の生成を継続する時間（秒数）を入力します。10～300の値を選択します。
10. モーションが検出されたときにEメール通知を送信するには、**Send Email[Eメール送信]**チェックボックスをオンにします。Eメールの設定は**Setup[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] > SMTP (Email)[SMTP (Eメール)]**で行う必要があります。49ページの「[電子メール設定の構成](#)」ページ49
11. モーションが検出されたときにスナップショットを撮るには、**Snapshot[スナップショット]**チェックボックスをオンにします。

Note スナップショットをEメール通知に添付するには、**Setup[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] > SMTP (Email)[SMTP (Eメール)]**で **Attachment[添付ファイル]**チェックボックスをオンにする必要があります。49ページの「[電子メール設定の構成](#)」ページ49

12. **Save[保存]**をクリックして設定を適用します。

カメラ不正干渉イベントの設定

カメラ不正干渉イベントの設定は、 Setup[設定] > Video Analytics[ビデオ分析] > Video Detection[ビデオ検出] > Video Tampering[ビデオ タンパリング] ページで構成できます。

カメラの不正干渉の検出を有効にするには：

1. Enable Tamper Detect[不正干渉検出を有効化] および Enable Defocus Detect[ピンぼけ検出を有効化] チェック ボックスをオンにします。
2. Alarm Period[アラーム期間]の横にある Setup[設定] をクリックします。Alarm Period[アラーム期間] ウィンドウが開きます。
3. アラーム機能をアクティブにする日時を設定し、 Save[保存] をクリックします。
4. 不正干渉イベントが検出されたときにビデオの録画を開始するには、 Record[録画] チェック ボックスがオンになっていることを確認します。
5. Record Delay[録画遅延] フィールドに、不正干渉イベントが終了した後にシステムがビデオの録画を継続する時間 (秒数) を入力します。10～300の値を選択します。
6. 不正干渉イベントが検出されたときアラーム出力を生成するには、 Alarm Output[アラーム出力] チェック ボックスをオンにし、アクティブにするアラーム出力を選択します。
7. Alarm Delay[アラーム遅延] フィールドに、不正干渉イベントが終了した後にシステムがアラーム出力の生成を継続する時間 (秒数) を入力します。10～300の値を選択します。
8. 不正干渉イベントが検出されたときにEメール通知を送信するには、 Send Email[Eメール送信] チェック ボックスをオンにします。Eメールの設定は Setup[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] > SMTP (Email)[SMTP (Eメール)] で行う必要があります。49 ページの「[電子メール設定の構成](#) ページ 49
9. 不正干渉イベントが検出されたときにスナップショットを撮るには、 Snapshot[スナップショット] チェック ボックスをオンにします。

Note スナップショットをEメール通知に添付するには、 Setup[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] > SMTP (Email)[SMTP (Eメール)] で Attachment[添付ファイル] チェック ボックスをオンにする必要があります。49 ページの「[電子メール設定の構成](#) ページ 49

10. Save[保存] をクリックして設定を適用します。

シーン変更イベントの設定

シーン変更イベントの設定は、Setup[設定] > Video Analytics[ビデオ分析] > Video Detection[ビデオ検出] > Scene Change[シーン変更] ページで構成できます。

シーン変更の検出を有効にするには：

1. Enable[有効化]チェックボックスをオンにします。
2. Alarm Period[アラーム期間]の横にある Setup[設定]をクリックします。Alarm Period [アラーム期間]ウィンドウが開きます。
3. アラーム機能をアクティブにする日時を設定し、Save[保存]をクリックします。
4. シーン変更イベントが検出されたときにビデオの録画を開始するには、Record[録画]チェックボックスをオンにします。
5. Record Delay[録画遅延]フィールドに、シーン変更イベントが終了した後にシステムがビデオの録画を継続する時間（秒数）を入力します。10～300の値を選択します。
6. シーン変更イベントが検出されたときアラーム出力を生成するには、Alarm Output[アラーム出力]チェックボックスをオンにし、アクティブにするアラーム出力を選択します。
7. Alarm Delay[アラーム遅延]フィールドに、シーン変更イベントが終了した後にシステムがアラーム出力の生成を継続する時間（秒数）を入力します。10～300の値を選択します。
8. アラーム イベントが検出されたときにEメール通知を送信するには、Send Email[Eメール送信]チェックボックスをオンにします。Eメールの設定はSetup[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] > SMTP (Email)[SMTP (Eメール)]で行う必要があります。49ページの「[電子メール設定の構成](#)」ページ49
9. アラーム イベントが検出されたときにスナップショットを撮るには、Snapshot[スナップショット]チェックボックスがオンになっていることを確認します。

Note スナップショットをEメール通知に添付するには、Setup[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] > SMTP (Email)[SMTP (Eメール)]で Attachment[添付ファイル]チェックボックスをオンにする必要があります。49ページの「[電子メール設定の構成](#)」ページ49

10. Save[保存]をクリックして設定を適用します。

オーディオ イベントの設定

オーディオ イベントの設定は、Setup[設定] > Video Analytics[ビデオ分析] > Audio Detection[オーディオ検出] ページで構成できます。

オーディオ イベント検出を有効にするには：

1. オーディオ入力の異常を検出するには、Enable Input Abnormal[入力異常を有効化] チェック ボックスをオンにします。
2. オーディオ入力の異常な変化を検出するには、次の手順に従います。
 - a. Enable Intensity Change[強度変化を有効化] チェック ボックスをオンにします。
 - b. Sensitivity[感度] および Threshold[しきい値] のスライダーを目的の値までドラッグします。マイナス記号 (-) とプラス記号 (+) をクリックして、微調整を行います。Sensitivity[感度] は、オーディオ入力音量の変化を制御します。Threshold[しきい値] は、オーディオ検出イベントがトリガーされる前に、オーディオ環境で許可される変化の量を制御します。
3. Alarm Period[アラーム期間] の横にある Setup[設定] をクリックします。Alarm Period [アラーム期間] ウィンドウが開きます。
4. アラーム機能をアクティブにする日時を設定し、Save[保存] をクリックします。
5. Anti-dither[アンチディザ] フィールドに、アンチディザー時間を秒単位で入力します。0～100 秒の値を入力します。この期間内に許可されるオーディオ イベントは1つだけです。
6. オーディオ イベントが検出されたときに録画を開始するには、Record[録画] チェック ボックスがオンになっていることを確認します。
7. Record Delay[録画遅延] フィールドに、オーディオ イベントが終了した後にシステムがビデオの録画を継続する時間 (秒数) を入力します。10～300 の値を選択します。

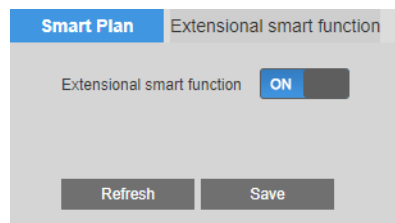
8. オーディオ イベントが検出されたときにアラーム出力を生成するには、**Alarm Output [アラーム出力]**チェック ボックスをオンにし、アクティブにするアラーム出力を選択します。
9. **Alarm Delay [アラーム遅延]**フィールドに、オーディオ イベントが終了した後にシステムがアラーム出力の生成を継続する時間（秒数）を入力します。10～300の値を選択します。
10. オーディオ イベントが検出されたときにEメール通知を送信するには、**Send Email [Eメール送信]**チェック ボックスをオンにします。Eメールの設定は**Setup [設定] > Network Setup [ネットワーク設定] > SMTP (Email) [SMTP (Eメール)]**で行う必要があります。49ページの「[電子メール設定の構成](#)」ページ49
11. オーディオ イベントが検出されたときにスナップショットを撮るには、**Snapshot [スナップショット]**チェック ボックスをオンにします。

Note スナップショットをEメール通知に添付するには、**Setup [設定] > Network Setup [ネットワーク設定] > SMTP (Email) [SMTP (Eメール)]**で **Attachment [添付ファイル]**チェック ボックスをオンにする必要があります。49ページの「[電子メール設定の構成](#)」ページ49

12. **Save [保存]** をクリックして設定を適用します。

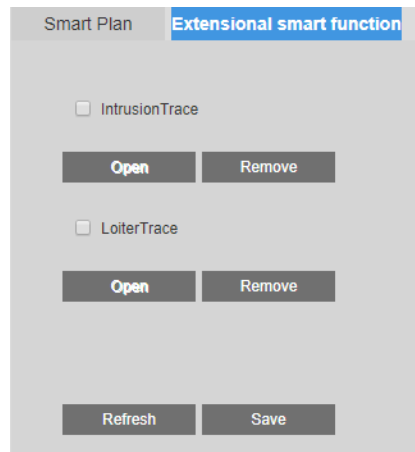
拡張ビデオ分析へのアクセス

ADPRO® IntrusionTrace™やADPRO® LoiterTrace™などの拡張ビデオ分析には、**Setup [設定] > Video Analytics [ビデオ分析] > Smart Plan [スマートプラン]**ページからアクセスできます。



拡張ビデオ分析にアクセスするには：

1. Smart Plan[スマートプラン]タブで、Extensional smart function[拡張スマート機能]がONに設定されていることを確認します。
2. Extensional smart function[拡張スマート機能]タブをクリックし、使用する機能を選択します。例：
 - IntrusionTrace にアクセスするには、IntrusionTrace チェックボックスをオンにして、Open[開く]をクリックします。
 - LoiterTrace にアクセスするには、LoiterTrace チェックボックスをオンにして、Open[開く]をクリックします。



7

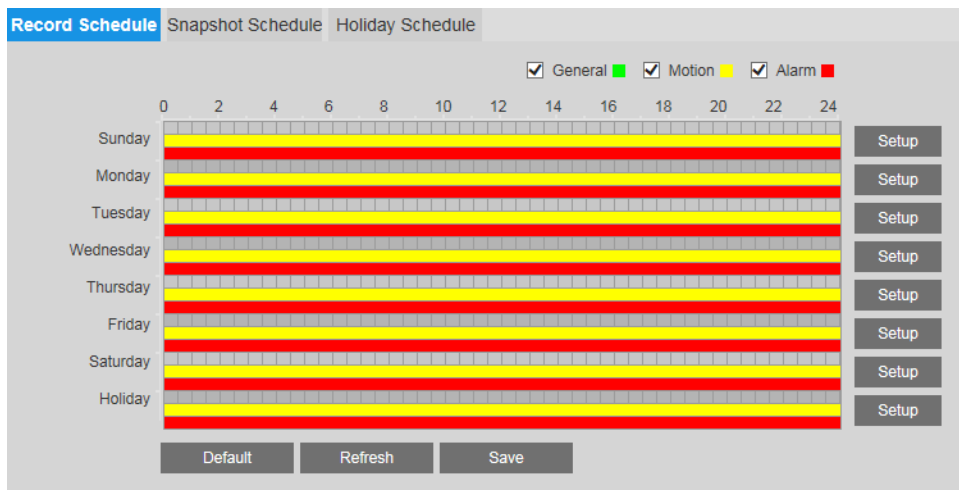
録画設定の構成

この章は以下の項で構成されています。

- [録画スケジュールの設定、ページ 67](#)
- [ストレージ設定の構成、ページ 68](#)
- [録画設定の構成、ページ 71](#)

録画スケジュールの設定

Setup[設定] > Storage Setup[ストレージ設定] > Schedule[スケジュール] ページで、ビデオの録画とスナップショットの保存の通常スケジュールと祝日スケジュールの両方を設定できます。



Record Schedule[録画スケジュール]タブで、Setup[設定]ボタンをクリックして、一般的なビデオ録画と、モーション検出およびアラーム録画の週末、平日、祝日の設定を構成します。

The Setup dialog box shows the following configuration for Monday:

Day	Period 1	Period 2	Period 3	Period 4	Period 5	Period 6	General	Motion	Alarm
Monday	00 : 00 : 00 - 09 : 59 : 59	21 : 00 : 00 - 23 : 59 : 59	10 : 00 : 00 - 20 : 59 : 59	00 : 00 : 00 - 23 : 59 : 59	00 : 00 : 00 - 23 : 59 : 59	00 : 00 : 00 - 23 : 59 : 59	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

1日あたり最大6つの異なる録画時間を設定できます。Save[保存]をクリックして設定を適用します。

同じ手順に従って、Snapshot Schedule[スナップショット スケジュール]タブで設定を行います。

Holiday Schedule[祝日スケジュール]タブでは、カレンダーの日付をクリックして休日を指定できます。選択した日付で、ビデオ録画/スナップショットのスケジュールは、Record

The Holiday Schedule dialog box shows the following configuration:

- Record
- Snapshot
- Calendar: Jan

Schedule[録画スケジュール]およびSnapshot Schedule[スナップショット スケジュール]タブで設定した祝日設定に従います。Save[保存]をクリックして設定を適用します。

ストレージ設定の構成

録画ストレージ設定は、Setup[設定] > Storage Setup[ストレージ設定] > Destination[保存先]ページで行うことができます。

ストレージパスの設定

Path[パス]タブでは、録画されたビデオとスナップショット（スケジュール指定されたか、モーション検出またはアラーム イベントによってトリガーされたもの）を保存する場所を指定できます。保存先は、ローカルSDカード、FTPサーバー、またはNASディスクを指定できます。

Path				Local	FTP	NAS	
Record			Snapshot				
Event Type	Scheduled	Motion Detect	Alarm	Event Type	Scheduled	Motion Detect	Alarm
Local	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Local	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
FTP	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	FTP	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
NAS	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	NAS	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Default		Refresh		Save			

保存する録画済みイベントと保存先を選択し、Save[保存]をクリックして設定を適用します。

Note 一度に使用できるネットワークストレージ オプションは1つだけです。FTPとNASは併用できません。

ストレージ用のローカルSDカードの設定

カメラにmicroSDカードが取り付けられている場合、Local[ローカル]タブにmicroSDカードの詳細が表示されます。

Device Name	Status	Properties	Used Capacity/Total Capacity
Local Disk1	Normal	Read & Write	4551.8M/30592M

Read-Only Read & Write Hot Swap Refresh Format

対応するボタンをクリックすると、取り付けられている microSD カードを読み取り専用、読み取り&書き込み、またはホットスワップ操作用に設定できます。

- **Read Only[読み取り専用]**：カードのデータは表示できますが、変更はできません。
- **Read & Write[読み取り&書き込み]**：カードのデータを表示および変更できます。
- **Hot Swap[ホットスワップ]**：カメラの電源を切らずにカードを挿入したり取り外したりすることができます。

microSD カードのすべてのデータを消去する場合、Format[フォーマット]をクリックします。確認メッセージが表示されます。OKをクリックして続行します。カードがフォーマットされ、カメラが再起動します。

ストレージ用のFTPサーバーの設定

FTPタブで、FTPストレージを有効にし、ストレージ設定を構成できます。

FTPストレージを有効にするには：

1. **Enable[有効化]** チェック ボックスをオンにします。
2. **Server Address[サーバー アドレス]** と **Port[ポート]** フィールドに、FTP サーバーのアドレスとポート番号を入力します。
3. **User Name[ユーザー名]** と **Password[パスワード]** フィールドに、サーバーのユーザー名とパスワードを入力します。
4. **Remote Directory[リモート ディレクトリ]** フィールドに、録画されたビデオ/スナップショットのファイルが保存されるサーバー上のディレクトリを入力します。
5. **Save[保存]** をクリックして設定を適用します。

パニック保存

FTPへのネットワーク接続がオフラインになっているか使用できないときに録画されたビデオ/スナップショットをカメラの microSD カードに保存するには、**Panic Save (Local)[パニック保存 (ローカル)]** チェック ボックスをオンにし、**Save[保存]** をクリックして設定を適用します。

ストレージ用のNASディスクの設定

NASタブで、ネットワーク接続されたストレージを有効にし、ストレージ設定を構成できます。

ネットワーク接続（NAS）ストレージを有効にするには：

1. Enable[有効化]チェックボックスをオンにします。
2. Server Address[サーバーアドレス]フィールドに、NASサーバーのアドレスを入力します。
3. Remote Directory[リモートディレクトリ]フィールドに、録画されたビデオ/スナップショットのファイルが保存されるサーバー上のディレクトリを入力します。
4. Save[保存]をクリックして設定を適用します。

録画設定の構成

録画設定は、Setup[設定] > Storage Setup[ストレージ設定] > Record Control[録画コントロール]ページで行うことができます。

デフォルトでは、録画されたビデオファイルの長さは8分または30分です（カメラのモデルによって異なります）。この設定を変更するには、Record Length[録画長]フィールドに1～120分の時間を入力します。

デフォルトでは、イベント前の録画時間（システムがバッファに保存する秒数）は5秒です。この設定を変更するには、Pre-Event Record[イベント前録画]フィールドに0～5秒の時間を入力します。

Disk Full[ディスク満杯]リストから、Overwrite[上書き]またはStop[停止]を選択します。

- Overwrite[上書き]：ディスク容量に達した場合、録画が続行され、以前に保存したビデオが上書きされます。
- Stop[停止]：ディスク容量に達した場合、録画が停止します。何も上書きされず、それ以上のビデオは録画されません。

Record Mode[録画モード]をAuto[自動]、Manual[手動]、またはOff[なし]に設定します。

- Auto[オート]：ビデオ録画を継続的に行います。
- Manual[手動]：ビデオ録画はユーザーが開始する必要があります。
- Off[オフ]：ビデオ録画は無効になっています。

Record Stream[録画ストリーム]リストから、ビデオの録画に使用するストリーム プロファイルを選択します。Main Stream[メインストリーム]またはSub Stream[サブストリーム]を選択します。

Save[保存]をクリックして設定を適用します。

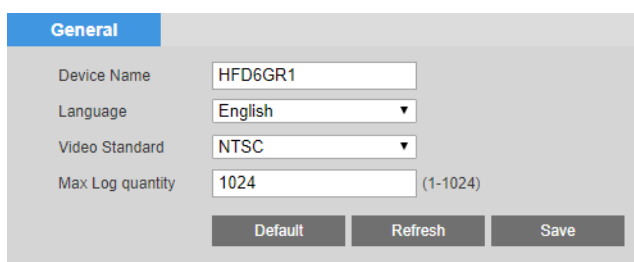
システム設定の構成

この章は以下の項で構成されています。

- システム一般設定の構成、ページ 73
- 日付&時刻設定の構成、ページ 74
- アカウント設定の構成、ページ 75
- カメラのリセット、ページ 80
- 設定のバックアップ/復元、ページ 80
- メンテナンス設定の構成、ページ 81
- ファームウェアのアップグレード、ページ 81
- バージョン情報の表示、ページ 82
- ログの管理、ページ 82
- オンラインユーザーの表示、ページ 84

システム一般設定の構成

Setup[設定]> System Setup[システム設定]> General[一般設定]ページで、デバイス名、ユーザー インターフェイス言語、映像規格、アナログ出力、およびステータス LED の設定を行うことができます。



The screenshot shows the 'General' settings page. It contains four input fields: 'Device Name' with the value 'HFD6GR1', 'Language' with a dropdown menu set to 'English', 'Video Standard' with a dropdown menu set to 'NTSC', and 'Max Log quantity' with a text input field containing '1024' and a range indicator '(1-1024)'. At the bottom of the form are three buttons: 'Default', 'Refresh', and 'Save'.

デバイス名を変更するには、Device Name[デバイス名]フィールドに新しい名前を入力し、Save[保存]をクリックします。

インターフェイスの言語を変更するには、Language[言語]リストから言語を選択し、Save[保存]をクリックします。

映像規格を変更するには、Video Standard[映像規格]リストから NTSC または PAL を選択し、Save[保存]をクリックします。

Max Log Quantity[最大ログ量]を変更するには、1～1024の値を入力し、Save[保存]をクリックします。

日付 & 時刻設定の構成

日付と時刻の設定は、**Setup[設定] > System Setup[システム設定] > Date & Time[日付と時刻]** ページで行うことができます。

日付と時刻の形式の変更

ビデオのテキスト オーバーレイに表示される日付と時刻の形式を変更できます。

日付形式を変更するには、**Date Format[日付形式]** リストから次のいずれかの形式を選択します。Year-Month-Day[年-月-日]、Month-Day-Year[月-日-年]、または Day-Month-Year[日-月-年]を選択します。Save[保存]をクリックして設定を適用します。

時刻の形式を変更するには、**Time Format[時刻形式]** リストから 24_Hour_Standard[24 時間標準] または 12_Hour_Standard[12 時間標準] を選択します。

日付と時刻の設定

カメラの日付と時刻を設定するには、3つの方法があります。日付と時刻を手動で入力するか、PCの内部クロックと同期するか、NTP（ネットワーク タイム プロトコル）サーバーと定期的に自動同期するようにカメラを設定することができます。

日付と時刻を手動で設定するには、**Current Time[現在時刻]** フィールドに日付と時刻を入力し、Save[保存]をクリックします。

日付と時刻をPCと同期するには、**Sync PC[PCの同期]** をクリックします。同期が成功すると“Save succeeded”（保存が正常に完了しました）というメッセージが表示されます。日付と時刻をPCと同期させたいときは、必ず手動で**Sync PC[PCの同期]** をクリックする必要があります。

NTP サーバーと時刻を同期するには：

1. **Time Zone[タイムゾーン]** ドロップダウン リストから、タイムゾーンを選択します。
2. 夏時間（DST）が適用されている地域にいる場合は、次の手順を実行します。
 - a. **Enable DST[DSTを有効化]** チェック ボックスをオンにします。
 - b. **DST Type[DSTタイプ]** を **Week[週]** に設定します。

- c. Start Time[開始時刻]を Mar 2nd Sunday 02:00:00 AM[3月2日 日曜日 午前2時]に設定します。
 - d. End Time[終了時刻]を Nov 1st Sunday 02:00:00 AM[11月1日 日曜日 午前2時]に設定します。
3. Synchronize with NTP[NTPと同期]チェックボックスをオンにします。
 4. 必要な場合は、NTP Server[NTPサーバー]をデフォルト (time-a.nist.gov) から変更できます。
 5. Update Period[更新期間]フィールドに、カメラの日付と時刻をNTPサーバーと同期させる間隔を入力します。0～30の値を入力できます。
 6. Save[保存]をクリックして設定を適用します。

アカウント設定の構成

Setup[設定] > System Setup[システム設定] > Account[アカウント]ページで、ユーザーアカウントと権限を管理できます。

Account					
User Name		Group			
No.	User Name	Group Name	Remark	Modify	Delete
1	admin	admin	admin's account		

Authority List				
Live	Playback	Record Control	Backup	PTZ
User Management	Alarm	Log Search	Clear Log	Upgrade
Auto Maintain	General	Video/Audio	Schedule/Destination	Network
Event	Video Detection	PTZ Settings	Restore Defaults	Camera Properties
IVS				

Add User

グループの管理

デフォルトでは、admin[管理者]とuser[ユーザー]という2つのユーザーのカテゴリまたは「グループ」があります。必要に応じて、追加のカスタムグループを作成できます。

グループの作成

新しいカスタムグループを作成し、そのグループに権限を割り当てることができます。

グループを作成するには：

1. Group[グループ]タブで、Add Group[グループの追加]をクリックし、Add Group[グループの追加]ウィンドウを開きます。

2. Group[グループ]フィールドでグループの名前を入力します。
3. 必要に応じて、Remark[備考]フィールドに簡単な説明を入力できます。
4. Authority List[権限リスト]からグループの権限を選択します（表 8-1 を参照）。

表 8-1 権限

名前	説明
ライブ	ユーザーは、 ライブ インターフェースでライブビデオを表示し、すべてのコントロールにアクセスできます。
再生	ユーザーは、 Playback[再生] インターフェースで録画したビデオを再生し、すべてのコントロールにアクセスできます。
録画コントロール	ユーザーは、 Setup[設定] > Storage Setup[ストレージ設定] > Record Control[録画コントロール] で設定にアクセスすることができます。
バックアップ	ユーザーは、 Playback[再生] インターフェースでビデオクリップを保存およびエクスポートすることができます。
ユーザー管理	ユーザーは、 Setup[設定] > System Setup[システム設定] > Account[アカウント] で設定にアクセスすることができます。
アラーム	ユーザーは、 Setup[設定] > Alarm Setup[アラーム設定] > Alarm[アラーム] で設定にアクセスすることができます。
ログ検索	ユーザーは、 Setup[設定] > Information[情報] > Log[ログ] でログを検索できます。
ログをクリア	ユーザーは、 Setup[設定] > Information[情報] > Log[ログ] でログをクリアできます。
アップグレード	ユーザーは、 Setup[設定] > System Setup[システム設定] > Upgrade[アップグレード] でファームウェアをアップグレードすることができます。
自動保守	ユーザーは、 Setup[設定] > System Setup[システム設定] > Auto Maintain[自動メンテナンス] で設定にアクセスすることができます。
一般	ユーザーは、 Setup[設定] > System Setup[システム設定] > General[一般設定] で設定にアクセスすることができます。
ビデオ/オーディオ	ユーザーは、 Setup[設定] > Compression Setup[圧縮設定] > Video[ビデオ] および Setup[設定] > Audio Setup[オーディオ設定] で設定にアクセスすることができます。
スケジュール/送信先	ユーザーは、 Setup[設定] > Storage Setup[ストレージ設定] > Schedule[スケジュール] および Setup[設定] > Storage Setup[ストレージ設定] > Destination[保存先] で設定にアクセスすることができます。
ネットワーク	ユーザーは、 Setup[設定] > Network Setup[ネットワーク設定] で設定にアクセスすることができます。
イベント	ユーザーは、 Setup[設定] > Alarm Setup[アラーム設定] > Event[イベント] で設定にアクセスすることができます。

表 8-1 権限


名前	説明
ビデオ検出	ユーザーは、Setup[設定]>Video Analytics[ビデオ分析]>Video Detect[ビデオの検出]で設定にアクセスすることができます。
初期値に戻す	ユーザーは、Setup[設定]>System Setup[システム設定]>Default[デフォルト]で設定にアクセスすることができます。
カメラのプロパティ	ユーザーは、Setup[設定]>Camera Setup[カメラ設定]>Properties[プロパティ]で設定にアクセスすることができます。
IVS	ユーザーは、Setup[設定]>Video Analytics[ビデオ分析]で設定にアクセスすることができます。

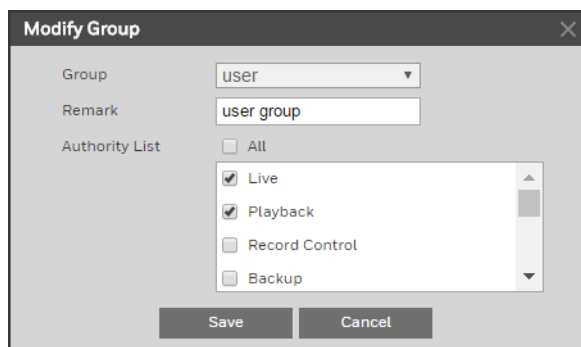
5. Save[保存]をクリックして設定を適用します。グループがリストに追加されます。

グループの変更

管理者グループ、ユーザーグループ、および作成した任意のカスタムグループの権限を変更できます。

グループを変更するには：

1. Group[グループ]タブで、変更するグループを選択し（選択したグループは黄色で強調表示されます）、Modify[変更]アイコンをクリックして、Modify Group[グループの変更]ウィンドウを開きます。




2. 必要に応じて、Remark[備考]フィールドで説明を編集できます。
3. Authority List[権限リスト]でグループの特定の権限を選択または選択解除するか（表 8-1 を参照）、All[すべて]チェックボックスをオンにしてすべての権限を選択または選択解除します。
4. Save[保存]をクリックして設定を適用します。

グループの削除

作成した任意のカスタムグループを削除できます（管理者グループまたはユーザーグループは削除できません）。

グループを削除するには：

1. Group[グループ]タブで、削除するグループを選択し（選択したグループは黄色で強調表示されます）、Delete[削除]アイコンをクリックします。
2. 確認メッセージが表示されます。OKをクリックして続行します。グループがリストから削除されます。

ユーザーの管理

ユーザー アカウントを作成、変更、または削除することができます。

ユーザー アカウントの作成

新しいユーザー アカウントを作成し、そのアカウントに権限を割り当てることができます。

ユーザー アカウントを追加するには：

1. User Name[ユーザー名]タブで、Add User[ユーザーの追加]をクリックし、Add User [ユーザーの追加]ウィンドウを開きます。

2. アカウントにユーザー名とパスワードを割り当てます。
 - a. User Name[ユーザー名]フィールドに、一意のユーザー名を入力します。
 - b. Password[パスワード]フィールドにパスワードを入力します。パスワードは8文字以上の長さで、大文字と小文字、少なくとも1つの数字、1つの特殊文字の組み合わせを含める必要があります。
3. Group[グループ]リストから選択したグループ (admin[管理者]、user[ユーザー]、または作成したカスタム グループ) にアカウントを割り当てます。
4. 必要に応じて、Remark[備考]フィールドに簡単な説明を入力できます。
5. Authority List[権限リスト]からアカウントの権限を選択します (表 8-1 を参照)。


Note 各ユーザーがグループに割り当てられます。個別のユーザーの権限は、ユーザーが所属するグループの権限を超えることはできません。グループレベルで権限を変更するには、[グループの変更](#) ページ 77 を参照してください。

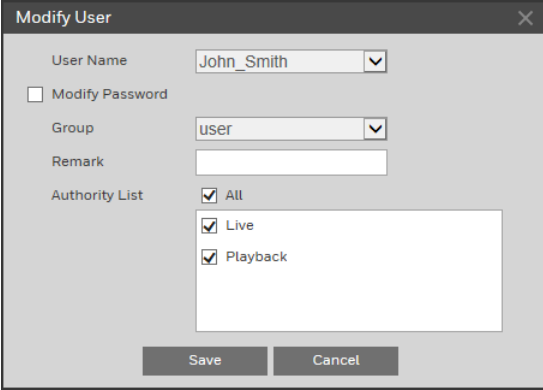
6. Save[保存]をクリックして設定を適用します。ユーザー アカウントがリストに追加されます。

ユーザー アカウントの変更

ユーザー アカウントのユーザー名、パスワード、および権限を変更できます。

ユーザー アカウントを変更するには：

1. User Name[ユーザー名]タブで、変更するユーザー アカウントを選択し（選択したユーザー アカウントは黄色で強調表示されます）、Modify[変更]アイコンをクリックして、Modify User[ユーザーの変更]ウィンドウを開きます。



2. パスワードを変更するには、Modify Password[パスワードの変更]チェック ボックスをオンにし、Old Password[古いパスワード]とNew Password[新しいパスワード]を対応するフィールドに入力し、Confirm Password[パスワードを確認]フィールドに新しいパスワードをもう一度入力します。
3. グループを変更するには、Group[グループ]リストからグループを選択します。
4. 必要に応じて、Remark[備考]フィールドで説明を編集できます。
5. Authority List[権限リスト]でアカウントの特定の権限を選択または選択解除するか（表 8-1 を参照）、All[すべて]を選択してすべての権限を選択または選択解除します。


Note 各ユーザーがグループに割り当てられます。個別のユーザーの権限は、ユーザーが所属するグループの権限を超えることはできません。グループレベルで権限を変更するには、[グループの変更](#) ページ 77 を参照してください。

6. Save[保存]をクリックして設定を適用します。

ユーザー アカウントの削除

作成した任意のユーザー アカウントを削除できます（管理者ユーザーは削除できません）。

ユーザー アカウントを削除するには：

1. User Name[ユーザー名]タブで、削除するユーザー アカウントを選択し（選択したユーザー アカウントは黄色で強調表示されます）、Delete[削除]アイコンをクリックします。
2. 確認メッセージが表示されます。OKをクリックして続行します。ユーザー アカウントがリストから削除されます。

カメラのリセット

カメラを工場出荷時のデフォルト設定にリセットするには、Setup[設定] > System Setup [システム設定] > Default[デフォルト] ページを使用します。



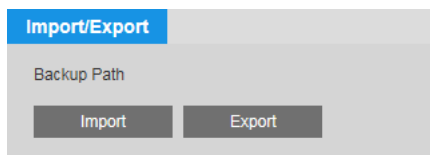
Note カメラを工場出荷時のデフォルト設定に戻すと、IP アドレスを含む一部の設定情報が失われます。

カメラをリセットするには：

1. Default[デフォルト] をクリックします。
2. 確認メッセージが表示されます。OK をクリックして続行します。カメラが自動的に再起動し、工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。

設定のバックアップ/復元

構成のバックアップまたは復元は、Setup[設定] > System Setup[システム設定] > Import/Export[インポート/エクスポート] ページで行うことができます。



設定をバックアップするには：

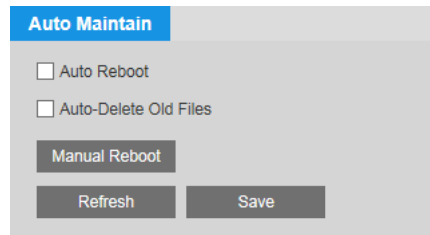
1. Export[エクスポート] をクリックします。Save As[名前を付けて保存] ウィンドウが開きます。
2. デフォルトでは、バックアップ ファイルの名前は DeviceConfig.backup になります。必要な場合は、ファイル名を変更し、ファイルを保存するディレクトリに移動して、Save[保存] をクリックします。ファイルパスが Backup Path[バックアップパス] の下に表示されます。

保存した設定を復元するには：

1. Import[インポート] をクリックします。Backup Path[バックアップパス] の下に表示されているディレクトリが新しいウィンドウで開きます。
2. バックアップファイル (DeviceConfig.backup など) をクリックします。構成設定はすぐに適用されます。

メンテナンス設定の構成

Setup[設定] > System Setup[システム設定] > Auto Maintain[自動メンテナンス]ページでは、2つの自動メンテナンス機能を使用できます。毎日または毎週再起動して古いファイルを自動的に削除するようにカメラを設定できます。



自動再起動機能を有効にするには、Auto Reboot[自動再起動]チェックボックスをオンにして、再起動スケジュール（たとえば、毎週火曜日の午前2時）を指定します。Save[保存]をクリックして設定を適用します。

自動削除機能を有効にするには、Auto Delete Old Files[古いファイルの自動削除]チェックボックスをオンにし、削除するファイルの経過時間（日数）を指定します。たとえば、「30」と入力すると、30日以上経過したファイルが自動的に削除されます。Save[保存]をクリックして設定を適用します。

ファームウェアのアップグレード

Setup[設定] > System Setup[システム設定] > Upgrade[アップグレード]ページで、カメラのファームウェアをアップグレードすることができます。



Note 始める前に、新しいファームウェアを入手してPCまたは外付けドライブに保存する必要があります。

ファームウェアをアップグレードするには：

1. Import[インポート]をクリックします。
2. ファームウェアファイル（.bin）の場所に移動し、ファイルを選択してOpen[開く]をクリックします。ファイル名がFirmware File[ファームウェアファイル]フィールドに表示されます。
3. Upgrade[アップグレード]をクリックしてファームウェアをインストールします。
4. カメラを再起動します。

Note 古いバージョンのファームウェアをインストールしようとする、警告メッセージが表示されます。

バージョン情報の表示

カメラのファームウェアのバージョン、Webクライアントのバージョン、ONVIFバージョン、シリアル番号を Setup[設定] > Information[情報] > Version[バージョン] ページで表示できます。

ログの管理

Setup[設定] > Information[情報] > Log[ログ] ページでログファイルを表示、バックアップ、および削除できます。

Log ?

Start Time: 2017-02-20 10 : 45 : 06 End Time: 2017-02-21 10 : 45 : 06

All Types: All Search found 14 log(s) Time 2017-02-20 19:44:31 -- 2017-02-21 10:00:09

No.	Log Time	User Name	Event
1	2017-02-21 10:00:09	admin	Logout
2	2017-02-21 09:55:36	admin	Login
3	2017-02-21 09:54:50	System	Save Configuration
4	2017-02-21 09:54:50	System	Save Configuration
5	2017-02-21 09:54:50	System	Save Configuration
6	2017-02-21 09:54:50	System	Save Configuration
7	2017-02-21 09:54:26	System	Start
8	2017-02-21 09:54:26	System	Abort

System Log Information

Time:
User Name:
Type:
Content:

Backup Clear

1 / 1

ログの表示

次の6種類のログがあります。System[システム]、Setting[設定]、Data[データ]、Event [イベント]、Record[録画]、Account[アカウント]。

ログを種類別に表示するには：

1. Start Time[開始時刻]と End Time[終了時刻]検索パラメータを入力します。
2. All Types[すべての種類]リストから、取得するログの種類を選択し、Search[検索]をクリックします。ログは、時間、ユーザー名、およびイベント（該当する場合）別に表示されます。
3. 特定のログに関する詳細情報を表示するには、ログをクリックします。情報は、System Log Information[システムログ情報]ボックスに表示されます。

Start Time: 2017-02-20 10:45:06 End Time: 2017-02-21 10:45:06

All Types: All Search found 14 log(s) Time 2017-02-20 19:44:31 ~ 2017-02-21 10:00:09

No.	Log Time	User Name	Event
1	2017-02-21 10:00:09	admin	Logout
2	2017-02-21 09:55:36	admin	Login
3	2017-02-21 09:54:50	System	Save Configuration
4	2017-02-21 09:54:50	System	Save Configuration
5	2017-02-21 09:54:50	System	Save Configuration
6	2017-02-21 09:54:50	System	Save Configuration
7	2017-02-21 09:54:26	System	Start
8	2017-02-21 09:54:26	System	Abort

System Log Information

Time: 2017-02-21 10:00:09

User Name: admin

Type: Logout

Content: Address: 159.99.251.254

Backup Clear

ログのバックアップ

ログをバックアップするには：

1. Backup[バックアップ]をクリックします。Save As[名前を付けて保存]ウィンドウが開きます。
2. デフォルトでは、バックアップファイルの名前はLogBackup[YYYY-MM-DD].txtになります。必要な場合は、ファイル名を変更し、ファイルを保存するディレクトリを見つけて、Save[保存]をクリックします。

ログの削除

すべてのログを削除するには：

1. Clear[クリア]をクリックします。
2. 確認メッセージが表示されます。OKをクリックして続行します。バックアップしていないすべてのログが削除されます。

オンライン ユーザーの表示

Setup[設定] > Information[情報] > Online User [オンライン ユーザー] ページで、現在オンラインになっているユーザーを切り替えることができます。ユーザーは、ユーザー名、IP アドレス、およびログイン時間別に一覧表示されます。リストを更新するには Refresh[更新] をクリックします。



The screenshot shows a web interface titled "Online User" with a help icon in the top right. Below the title is a table with the following columns: "No.", "User Name", "User Local Group", "IP Address", and "User Login Time". The table contains one row of data. Below the table is a "Refresh" button.

No.	User Name	User Local Group	IP Address	User Login Time
1	admin	admin	164.178.45.154	2017-02-22 01:58:24

Refresh



技術仕様

HFD6GR1 フィッシュアイ カメラ

表 A-1 HFD6GR1 の仕様

カメラ本体	
ビデオ規格	NTSC/PAL
イメージセンサー	1/1.8インチ6メガピクセルプログレッシブスキャンCMOS
画素数 (H×V)	3072×2048
最小照度	0.01ルクス (カラー) /0ルクス (白黒 赤外線LEDオン@ F2.0)
レンズ	1.7 mm、固定レンズ、F2.0
水平画角	185°
S/N比	50 dB以上
電子シャッター速度	自動、手動、1/3 (4) – 1/100 000秒
赤外線距離	最長8 m (被写体の反射率により異なる)
デイナイト機能	自動(ICR)/カラー/白黒
逆光補正	BLC/HLC/DWDR
ワイドダイナミックレンジ	デジタルWDR
White Balance [ホワイトバランス]	自動/ナチュラル/街灯/アウトドア/カスタマイズ領域
ゲイン制御	自動/手動
ノイズ低減	3DNR
プライバシーマスク	最大4エリア
廊下モード	有り
オーディオ/双方向	ライン入力/出力、内蔵マイク1個
アラーム入力/出力	2/2
内蔵ストレージ	最大128 GB microSDカード、Class10カード (別売)

ネットワーク	
ビデオ圧縮	H.265/H.264/MJPEG
解像度	4:3 3 MP (2048×1536) /UXGA (1600×1200) /1.3 MP (1280×960) その他 6 MP (3072×2048) /4 MP (2048×2048) /D1 (704×576/704×480) /CIF (352×288/352×240)
フレームレート	Main Stream [メインストリーム] 6 MP (3072×2048) /4 MP (2048×2048) /3 MP (2048×1536) /UXGA (1600×1200)、最大 25/30 fps Sub Stream [サブストリーム] 最高 25/30 fps@D1/CIF トリプルストリーム 最高 25/30 フレーム/秒で 1.3 MP/D1
オーディオ圧縮	G.711a/G.711mu/AAC/G.726/MPEG2-Layer 2/G.722.1/G.729
オーディオストリーム	全二重、片方向
イーサネット	RJ-45 (10/100/1000Base-T)
プロトコル	IPv4/v6、TCP/IP、UDP、RTP、RTSP、HTTP、HTTPS、SSL、ICMP、FTP、SMTP、DHCP、PPPoE、UPnP、IGMP、SNMP、Bonjour、DNS、DDNS、IEEE 802.1X、QoS、NTP、IP フィルタ、マルチキャスト、ONVIF
互換性	ONVIF プロファイル S/G
最大ユーザー	20
対応 web ブラウザ	Internet Explorer® (11.0以降)、Firefox、Chrome
対応オペレーティングシステム	Windows 7 32ビット/64ビット、Windows 10
セキュリティ	強化されたパスワードポリシーによる複数のユーザー アクセスレベル、IP フィルタリング、IEEE 802.1X、アクセス許可のための強力なダイジェスト認証、HTTPS、TLS1.2のみ、高強度の暗号化アルゴリズム AES-256、SSH/Telnet 切断、FTP 無効化による攻撃対象領域の削減、PCI-DSS 準拠、内蔵サイバーセキュリティ ハードウェア チップセット
言語	英語、アラビア語、チェコ語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、スペイン語、トルコ語
General [一般]	
入力電圧	PoE (802.3af) クラス 0、12 VDC
消費電力	最大 10 W (赤外線 LED 点灯時)
寸法	150.2 × 55.8 mm
重量	1.1 lb (0.5 kg)
材質	アルミダイカスト・粉体塗装
Color [カラー]	RAL 9003 (白)
気温	-30°C ~ 60°C

General [一般]		
相対湿度	95% 未満で非結露	
保護等級	IP67	
耐衝撃性	IK10	
規制	エミッション	EN 55032、FCC パート 15B、AS/NZ CISPR 22:2009 + A1 (2010)
	イミュニティ	EN 50130-4
	安全性	EN 60950-1、EN 60950-22、UL/CSA 60950-1、UL/CSA 60950-22 認定取得
	RoHS	EN 50581
統合		
MAXPRO NVR ファミリー	Enterprise Level Network Video Recorders (4.0 以上)	
MAXPRO VMS ファミリー	Enterprise Level Network Video VMS (R410 以上)	
付属品	HFG-WK ウォール マウント ブラケット HFG-PK ペンダント マウント ブラケット HB4G-PM ポール取り付けアダプタ HB34G-CM コーナー取り付けアダプタ	

HFD8GR1 フィッシュアイ カメラ

表 A-2 HFD8GR1 の仕様

カメラ本体	
ビデオ規格	NTSC/PAL
イメージセンサー	1/1.7 インチ 12 メガ ピクセル プログレッシブ スキャン CMOS
画素数 (H×V)	4000×3000
最小照度	0.01 ルクス (カラー) /0 ルクス (白黒 赤外線 LED オン @ F2.8)
レンズ	1.98 mm、固定レンズ、F2.8
水平画角	185°
S/N 比	50 dB 以上
電子シャッター速度	自動、手動、1/3 (4) – 1/100 000 秒
赤外線距離	最長 8 m (被写体の反射率により異なる)
デイトライト機能	自動(ICR)/カラー/白黒
逆光補正	BLC/HLC/DWDR
ワイドダイナミックレンジ	デジタル WDR
White Balance [ホワイトバランス]	自動/ナチュラル/街灯/アウトドア/カスタマイズ領域
ゲイン制御	自動/手動
ノイズ低減	3DNR
プライバシーマスク	最大 4 エリア
廊下モード	有り
オーディオ/双方向	ライン入力/出力、内蔵マイク 1 個
アラーム入力/出力	2/2
内蔵ストレージ	最大 128 GB microSD カード、Class10 カード (別売)
ネットワーク	
ビデオ圧縮	H.265/H.264/MJPEG
解像度	4:3 12 MP (4000×3000) /6 MP (2880×2160) /3 MP (2048×1536) /1.3 MP (1280×960) その他 8 MP (2880×2880) /D1 (704×576/704×480) /CIF (352×288/352×240)
フレームレート	Main Stream [メインストリーム] 12 MP (4000×3000) 最大 25 fps/8 MP (2880×2880) /6 MP (2880×2160) /3 MP (2048×1536) 最大 25/30 fps Sub Stream [サブストリーム] 最高 25/30 fps@D1/CIF トリプルストリーム 最高 25/30 フレーム/秒で 1.3 MP/D1
オーディオ圧縮	G.711a/G.711mu/AAC/G.726/MPEG2-Layer 2/G.722.1/G.729

ネットワーク		
オーディオストリーム	全二重、片方向	
イーサネット	RJ-45 (10/100/1000Base-T)	
プロトコル	IPv4/v6、TCP/IP、UDP、RTP、RTSP、HTTP、HTTPS、SSL、ICMP、FTP、SMTP、DHCP、PPPoE、UPnP、IGMP、SNMP、Bonjour、DNS、DDNS、IEEE 802.1X、QoS、NTP、IPフィルタ、マルチキャスト、ONVIF	
互換性	ONVIF プロファイルS/G	
最大ユーザー	20	
対応webブラウザ	Internet Explorer® (11.0以降)、Firefox、Chrome	
対応オペレーティングシステム	Windows 7 32ビット/64ビット、Windows 10	
セキュリティ	強化されたパスワードポリシーによる複数のユーザー アクセスレベル、IPフィルタリング、IEEE 802.1X、アクセス許可のための強力なダイジェスト認証、HTTPS、TLS1.2のみ、高強度の暗号化アルゴリズムAES-256、SSH/Telnet切断、FTP無効化による攻撃対象領域の削減、PCI-DSS準拠、内蔵サイバーセキュリティ ハードウェアチップセット	
言語	英語、アラビア語、チェコ語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、スペイン語、トルコ語	
General [一般]		
入力電圧	PoE (802.3af) クラス0、12 VDC	
消費電力	最大 10 W (赤外線 LED 点灯時)	
寸法	150.2 × 55.8 mm	
重量	1.1 lb (0.5 kg)	
材質	アルミダイカスト・粉体塗装	
Color [カラー]	RAL 9003 (白)	
気温	-30°C ~ 60°C	
相対湿度	95% 未満で非結露	
保護等級	IP67	
耐衝撃性	IK10	
規制	エミッション	EN 55032、FCC パート 15B、AS/NZ CISPR 22:2009 + A1 (2010)
	イミュニティ	EN 50130-4
	安全性	EN 60950-1、EN 60950-22、UL/CSA 60950-1、UL/CSA 60950-22 認定取得
	RoHS	EN 50581

統合	
MAXPRO NVR ファミリー	Enterprise Level Network Video Recorders (4.0 以上)
MAXPRO VMS ファミリー	Enterprise Level Network Video VMS (R410 以上)
付属品	HFG-WK ウォール マウント ブラケット HFG-PK ペンダント マウント ブラケット HB4G-PM ポール取り付けアダプタ HB34G-CM コーナー取り付けアダプタ

索引

数字

3DNR (3D デジタル ノイズ低減)、30

802.1X、53

安全の手引き 6

保証、7

変更

 ユーザー アカウント、79

 ユーザー グループ、77

不正干渉検出設定、62

不正アクセス イベント設定、59

彩度、19, 29

復元

 工場出荷時のデフォルト設定 80

 設定 80

構成設定

 復元、80

 バックアップ、80

関連文書 12

画面モード、19

Image Adjustment 19

画像設定

 カメラ側 29

 クライアント側、19

輝度、19, 29

記号の一覧 8

解像度、34

録画

 期間、68

 設定、71

 スケジュール、68

 ストレージ、68-71

 タイプ、25

 パス、69

録画ボタン 20

露光の設定、30

全画面モード、19

権限リスト、76

権限を割り当てるユーザー、78

日付と時刻の設定、74-75

色相、19

仕様、85-90

適応型スクリーン モード、19

手動録画、25

通話ボタン、20

文書で使用されている記号 8

霧除去、31

鮮明度、29

削除

 ユーザー アカウント、79

 ユーザー グループ、77

 ログ、83

言語、73

一般的なビデオ録画、25, 68

音声

 双方向の通話を有効化/無効化、20

 音声入力の有効化/無効化、20

音声ボタン、20

映像規格、73

再生インターフェース、23

再生コントロール、24, 25

証明書、54

祝日スケジュール、68

自動削除、81

自動再起動、81

作成

 ユーザー アカウント 78

 ユーザー グループ、76

A

ARP/ping、43

B

BLC (逆光補正)、30

Bonjour、52

C

CBR (固定ビットレート)、35

D

DDNS (ダイナミック DNS)、46

DST (夏時間)、74

E

Eメールの設定、49

F

FTP ストレージ、70

H

H.264 (メイン プロファイル)、34
 H.264B (ベースライン プロファイル)、34
 H.264H (ハイ プロファイル)、34
 HLC (ハイライト補正)、30
 HTTPS、44

I

IPC ツール
 新しい IP アドレスの割り当て 14
 カメラの検出 13
 のインストール、13
 ファームウェアのアップグレード 14
 IP アドレス設定、42
 IP フィルタ設定、47-48
 IVS (インテリジェントビデオ監視)、19, 59-66, 66
 I フレーム間隔、35

M

MJPEG、34

N

NAS (ネットワーク接続ストレージ)、70
 NTP (ネットワーク タイム プロトコル)、74

O

ONVIF (Open Network Video Interface Forum) 45

P

PPPoE (Point-to-Point Protocol over Ethernet)、45

Q

QoS (Quality of Service)、53

R

ROI (regions of interest)、38
 RTSP、44

S

SD カード イベント、57
 SMTP。Eメール設定を参照
 SNMP (Simple Network Management Protocol)、51

T

TCP、21, 44
 TCP/IP、42

U

UDP、21, 44
 UPnP (ユニバーサル プラグ アンド プレイ)、50

V

VBR (可変ビットレート)、35

W

WDR (ワイド ダイナミック レンジ) 30
 Web クライアント
 ログアウト、21
 Web クライアント
 ログイン、17

あ

アカウント設定、75-79
 アラーム
 設定、55-57
 アラーム出力の手動生成/キャンセル 21
 アラーム出力ボタン、21
 アラーム録画、25, 68
 アンチフリッカー、30

い

イベント
 不正アクセス、59
 容量警告、57
 IP 競合、58
 SD カード エラー、57
 SD カード なし、57
 アラーム、55-57
 オーディオ 64-65
 カメラの不正干渉、62
 シーン変更、63
 システム、57-59
 ネットワーク切断、58
 モーション検出、59-61

う

ウォーターマーク、35

お

オーディオ
 イベント検出、64-65
 プロパティ、39
 オリジナル画面モード、19
 オンラインユーザー、84

か

カメラ プロファイル、[29, 33](#)
 カメラの仕様、[85-90](#)
 カメラのバージョン情報、[82](#)
 カメラをデフォルトにリセットする、[80](#)
 ガンマ、[29](#)

く

グループ
 変更、[77](#)
 権限の割り当て、[76](#)
 削除、[77](#)
 作成、[76](#)

こ

コントラスト、[19, 29](#)

さ

サブストリーム 1、[21, 34](#)
 サブストリーム 2、[21, 34](#)

し

シーン変更の設定、[19, 63](#)
 システム イベント設定、[57-59](#)
 シリアル番号、[82](#)

す

ズーム イン/ズーム アウト、[21](#)
 ストリーミング プロパティ、[34](#)
 ストリーム タイプ、[21](#)
 ストリーム プロトコル、[21](#)
 スナップショット
 表示、[27](#)
 録画されたビデオのスナップショットの撮影 [27](#)
 設定の構成、[35](#)
 スケジュール、[68](#)
 ダウンロード、[27](#)
 ライブ ビデオのスナップショットの撮影 [20](#)
 スムージング。「スムーズさ」を参照
 スムーズさ、[19](#)

た

タイムライン
 コントロール、[25](#)
 ズーム イン/ズーム アウト、[25](#)
 ダウンロード
 スナップショット [27](#)
 ビデオ クリップ、[26](#)
 ビデオ ファイル、[26](#)

て

デイナイトの設定、[31](#)

デジタル ズーム、[21](#)
 デバイス名、[73](#)
 デフォルト設定、復元 [80](#)

と

トリプル スナップショット ボタン、[20](#)

ね

ネットワーク
 最大接続数、[44](#)
 IP 設定、[42](#)
 イベント設定、[58](#)
 セキュリティ、証明書を参照
 ポートの設定、[44](#)

は

バックアップ
 設定、[80](#)
 ログ、[83](#)
 パニック保存、[70](#)
 パネル、[19](#)

ひ

ビットレート、[35](#)
 ビデオ
 録画されたビデオのスナップショットの撮影 [27](#)
 録画されたビデオのダウンロード、[26](#)
 録画したビデオの再生、[25](#)
 録画プロパティ、[71](#)
 露光、[30](#)
 通常スケジュール、[68](#)
 霧除去、[31](#)
 形式、[34](#)
 照明補正、[30](#)
 祝日スケジュール、[68](#)
 ウォーターマーク、[35](#)
 クリップの作成、[26](#)
 クリップのエクスポート、[26](#)
 ストリーミング プロパティ、[34](#)
 ストリーム タイプの設定、[21](#)
 ストレージ、[68-71](#)
 スナップショット スケジュール、[68](#)
 スムーズさ、[19](#)
 デイナイト、[31](#)
 ホワイト バランス、[31](#)
 ライブ ビデオの手動録画 [20](#)
 ライブ ビデオのスナップショットの撮影 [20](#)
 ビデオ クリップ
 作成、[26](#)
 エクスポート、[26](#)
 コントロール、[24](#)
 ビデオ クリップの作成、[26](#)
 ビデオの再生、[25](#)
 ピンぼけ検出、[62](#)

ふ

ファームウェア
のアップグレード [14, 81](#)
バージョン、[82](#)
ファームウェアの一括アップグレード [14](#)
ファームウェアのアップグレード [14, 81](#)
プライバシー マスク、[36](#)
フレーム レート、[35](#)
プロトコル、[21](#)
プロファイル管理、[33](#)

ほ

ホワイトバランスの設定、[31](#)

ま

マイク。音声を参照
マルチキャスト、[21, 52](#)

め

メインストリーム、[21, 34](#)
メンテナンス設定、[81](#)

も

モーション検出録画、[25, 68](#)
モーション検出設定、[59-61](#)

ゆ

ユーザー
変更、[79](#)
削除、[79](#)
作成、[78](#)
ユーザー権限、[76](#)

ら

ライブ インターフェース
概要、[18](#)
設定、[19](#)
コントロール、[19, 20](#)
ライブビデオ ストリーミングの設定、[21, 34](#)

れ

レイテンシ、[21](#)

ろ

ローカル ストレージ、[69](#)
ログ
表示、[83](#)
削除、[83](#)
バックアップ、[83](#)
ログインの失敗、[59](#)
ログの表示、[83](#)

Honeywell Security Products Americas (本社)

2700 Blankenbaker Pkwy, Suite 150
Louisville, KY 40299, USA
www.honeywell.com/security
☎ +1 800 323 4576

Honeywell Security Europe/South Africa

Aston Fields Road, Whitehouse Industrial Estate
Runcorn, WA7 3DL, United Kingdom
www.honeywell.com/security/uk
☎ +44 (0) 1928 754 028

**Honeywell Security Products Americas
Caribbean/Latin America**

9315 NW 112th Ave.
Miami, FL 33178, USA
www.honeywell.com/security/clar
☎ +1 305 805 8188

Honeywell Security Asia Pacific

35F Tower A, City Center, 100 Zun Yi Road
Shanghai 200051, China
www.asia.security.honeywell.com
☎ +86 21 2219 6888

Honeywell Security Middle East/N.Africa

Emaar Business Park, Sheikh Zayed Road
Building No. 2, Office No. 301
Post Office Box 232362
Dubai, United Arab Emirates
www.honeywell.com/security/me
☎ +971 (0) 4 450 5800

Honeywell Security Northern Europe

Ampèrestraat 41
1446 TR Purmerend, The Netherlands
www.honeywell.com/security/nl
☎ +31 (0) 299 410 200

Honeywell Security Deutschland

Johannes-Mauthe-Straße 14
72458 Albstadt, Germany
www.honeywell.com/security/de
☎ +49 (0) 7431 801-0

Honeywell Security France

Immeuble Lavoisier
Parc de Haute Technologie
3-7 rue Georges Besse
92160 Antony, France
www.honeywell.com/security/fr
☎ +33 (0) 1 40 96 20 50

Honeywell Security Italia SpA

Via della Resistenza 53/59
20090 Buccinasco
Milan, Italy
www.honeywell.com/security/it
☎ +39 (0) 2 4888 051

Honeywell Security España

Avenida de Italia, nº 7, 2ª planta
C.T.Coslada
28821 Coslada, Madrid, Spain
www.honeywell.com/security/es
☎ +34 902 667 800

Honeywell Security Россия и СНГ

121059 Moscow, Ul, Kiev 7
Russia
www.honeywell.com/security/ru
☎ +7 (495) 797-93-71

Honeywell

www.honeywell.com/security

+1 800 323 4576 (北米のみ)

<https://www.honeywellsystems.com/ss/techsupp/index.html>

文書 800-23094V1 – 改訂 A – 2017 年 11 月

© 2017 Honeywell International Inc. 無断複写・転載を禁ず。Honeywellの書面による承諾なしに本書の全部または一部を転載することはできません。本書の情報はあらゆる点で正確を期しています。Honeywellは、製品の使用に起因するいかなる結果についても責任を負いません。本書に記載の情報は予告無く変更する場合があります。本書の改訂版や新規作成版には当該の変更を反映するものとします。